Panasonic®

取扱説明書

SD/HDD ビデオカメラ

品番 SDR-H80

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に **「安全上のご注意」（98 ～ 101 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

英語のクイックリファレンスガイドを 110 ～ 113 ページに記載しております。どうぞご利用ください。
The English Quick Reference Guide is indicated on P110 to P113. Refer to the pages if you prefer English.

SD HC™　PictBridge　DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

安全上のご注意
はじめに
撮る
見る
パソコンで使う
大事なお知らせなど

LSQT1557 B

もくじ

はじめに

使う前に

準備する

撮る

撮る（基本）

撮る（応用）

「安全上のご注意」を必ずお読みください（98 ～ 101 ページ）

見る

再生する

編集する

整理する

他の機器で

パソコンで使う

使う前に

準備する

パソコンで使う

大事なお知らせなど

画面表示

困ったときは

付属品

以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2008 年 12 月現在のものです。

□ バッテリーパック VW-VBG070 ● お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。（P13）	□ 映像・音声コード K2KC4CB00022
□ AC アダプター VSK0696	□ USB 接続ケーブル K1HA05AD0006
□ 電源コード K2CA2DA00009	□ CD-ROM
□ DC コード K2GJ2DC00015	

● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

必ずお読みください

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）の前や、長期間ご使用にならなかったときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。
特に「逆光補正」などの機能をご使用の際は、設定をご確認ください。

撮影内容の補償はできません

本機および SD カードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。画面のイラストでは、表示される文字や記号を実物より大きくして説明しています。

■ 本書での記載について

以下のように記載しています。

- バッテリーパック→「バッテリー」
- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード→「SD カード」
- ハードディスクドライブ→「HDD」
- 参照いただくページ→ P00

■ 本機で使用できるカードは

SD メモリーカードおよび SDHC メモリーカードです。詳しくは、11 ページをご覧ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

- SDHC ロゴは商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、DirectDraw®、DirectSound® および DirectX® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- IBM、PC/AT および PowerPC は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Intel®、Core™、Pentium®およびCeleron®は、Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- YouTube および YouTube ロゴは YouTube LLC の商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は 米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ホームページではビデオの撮りかたやコツ、
新製品の情報などを紹介しています。
参考にご覧ください。
http://panasonic.jp

また製品のサポート情報については
http://panasonic.jp/support
をご覧ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部の名前

ジョイスティック
撮影機能の選択や再生、メニュー設定時などに使用します。上下左右にたおして選び、中央を押して決定します。

上下左右にたおす　まっすぐ押し込む

- メニュー設定について（P18）
- 撮影機能を使う（P34、42）
- 再生する（P46）

ウェブモードボタン
[WEB MODE]（P27）

撮影時：ズームレバー［W/T］（P31）
再生時：ボリュームレバー［−VOL+］（P47）

おまかせ iA ボタン（P24）

カード挿入部（P16）

カード扉
[SD CARD]（P16）

カード動作中ランプ
[ACCESS]（P12）

A/V
A/V 出力端子（P63、72）
- 映像・音声コードは付属のもの以外は接続しないでください。

スピーカー

メニューボタン
[MENU]（P18）

消去ボタン［ 🗑 ］（P51）

マニュアルボタン
[MANUAL AF/MF]（P42）

手ブレ補正ボタン
[O.I.S./(手)]（P33）

ビデオライトボタン [LIGHT]（P33）

液晶モニター（P23）
液晶開く部に指をかけて液晶モニターを開いてください。

液晶開く部

90°　180°　90°

レンズカバー
開閉スイッチ
レンズ
グリップベルト
内蔵ステレオマイク
ビデオライト（P33）

HDD 動作中ランプ
[ACCESS HDD]（P12）
動作表示ランプ（P17）
モードダイヤル（P17）
撮影開始 /
一時停止ボタン
（P26、29）
バッテリー取付部（P14）
USB 端子 [⭠]
（P66、73、82）
DC 入力端子
[DC IN]（P15）

三脚取付穴（P107）
バッテリー取外しレバー
[BATTERY]（P14）

レンズカバー

使用しないときはレンズの保護のため、レンズカバーを閉じてください。

開閉スイッチをスライドさせて開く / 閉じる

グリップベルト

手の大きさに合わせて、ベルトの長さを調整してください。

❷ 長さを決める
❶ ベルトをめくる
❸ ベルトを留める

使う前に 3

HDD（ハードディスクドライブ）とSDカードについて

本機は、内蔵 HDD または SD カードにビデオと写真を記録することができます。

		内蔵 HDD（ハードディスクドライブ）	SD メモリーカード			SDHC メモリーカード
画面表示						
本書での表示		HDD	SD			
記録容量		60 GB ※1	8 MB 16 MB	32 MB 64 MB 128 MB	256 MB 512 MB 1 GB 2 GB	4 GB 6 GB 8 GB 12 GB 16 GB 32 GB
機能	ビデオ撮影	○	×	○※2	○	
	写真撮影	○	○			
	プレイリスト作成	○	×			

○：使用できます　×：使用できません

※ 1. 60 GB の内蔵 HDD はファイルシステムなどの管理情報を保存している領域があるため、実際に使える容量が少なくなります。
HDD の容量は、一般的に 1 GB=1,000,000,000 バイトで計算しています。本機やパソコン、一部のソフトウェアでは、1 GB=1,024×1,024×1,024=1,073,741,824 バイトで計算しているため、表示される値は小さくなります。

※ 2. 動作保証しておりません。

SD カードについて

本機は SDHC 対応機器（SD メモリーカード /SDHC メモリーカード両方に対応した機器）です。SDHC メモリーカードは、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用できません。SDHC メモリーカードを他の機器で使う場合は、SDHC メモリーカードに対応しているか確認してください。

- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。
- 4 GB 以上のメモリーカードは SDHC メモリーカードのみ使用できます。
- SDHC ロゴのない 4 GB 以上のメモリーカードは、SD 規格に準拠していないため使用できません。
- SD カードのフォーマットは本機で行ってください。(P62) パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。
- データの書き込みを繰り返した SD カードをお使いの場合、ビデオの記録可能時間が短くなることがあります。
- SD カードの書き込み禁止スイッチを図のように「LOCK」側にすると、書き込みやデータの消去、フォーマットができなくなります。戻すと可能になります。
- マルチメディアカードは使用できません。

書き込み禁止スイッチ

SDHC 32GB

使用可能な SD メモリーカード /SDHC メモリーカードについての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/video/connect/

使用可能なSDカードについて（2008年12月現在）

ビデオ撮影には、SDスピードクラス※1がクラス2以上のSDカードをお使いください。当社製SDカードは、下記の品番をお使いいただけます。

	High Speed SDメモリーカード	クラス2 SD/SDHC メモリーカード	クラス4 SD/SDHC メモリーカード	クラス6 SD/SDHC メモリーカード
256 MB	RP-SD256B	RP-SDR256※2	–	–
512 MB	RP-SDK512※2	RP-SDR512	–	RP-SDV512
1 GB	RP-SDH01G※2	RP-SDR01G※2	RP-SDM01G	RP-SDV01G
2 GB	RP-SDK02G※2	RP-SDR02G※2	RP-SDM02G	RP-SDV02G
4 GB	–	RP-SDR04G※2	RP-SDM04G	RP-SDV04G
6 GB	–	–	RP-SDM06G	–
8 GB	–	–	RP-SDM08G	RP-SDV08G
12 GB	–	–	RP-SDM12G	–
16 GB	–	–	RP-SDM16G	RP-SDV16G
32 GB	–	–	–	RP-SDV32G

※1. SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。
※2. 生産終了品

- 以下のSDカードでは、ビデオ撮影の動作保証はしておりません。（ビデオ撮影が突然停止することがあります）
  – 32 MBから128 MBのSDカード
  – 上記以外の256 MBから32 GBのSDカード

SDカードの取り扱い

- SDカード裏の端子部に触れないでください。
- SDカード裏の端子部にごみや水、ほこりを付着させないでください。
- SDカードを次のような場所に置かないでください。
  – 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  – 湿気やほこりの多いところ
  – 温度差の激しいところ（つゆつきが発生します）
  – 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに収めてください。
- 電気ノイズや静電気、本機やSDカードの故障などによりSDカードのデータが壊れたり、消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存してください。

HDD の取り扱い

本機は HDD を内蔵しています。HDD は精密機器ですので、取り扱いにお気をつけください。

振動や衝撃を与えない

環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、読み取りができなくなったり、記録・再生ができなくなる場合があります。特に撮影や再生中は振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。

- ライブハウスなど大音量の場所で撮影すると、音の振動により記録が停止することがあります。
  そのような場所では SD カードに記録することをおすすめします。

本機を落とさない

本機に強い衝撃が与えられた場合は、HDD が故障する恐れがあります。
本機は、衝撃から HDD を保護するために落下検出機能を備えています。ビデオ撮影中に落下状態を検出すると、HDD の動作音が記録されることがあります。また、繰り返し検出すると、HDD 保護のため記録 / 再生を停止することがあります。

高温・低温時には動作が止まることがあります

本機の温度が高すぎる、または低すぎると、HDD 保護のため本機の使用ができなくなります。高温または低温を感知した場合は、メッセージが表示されることがあります。（P91）

高地など気圧の低いところで使用しない

海抜 3000 m 以上の場所で使用すると HDD が故障する恐れがあります。

定期的に保存（バックアップ）をする

HDD は一時的な保管場所です。静電気や電磁波、破損、故障などで大切なデータが消失しないよう、パソコンや DVD ディスクなどにコピーしてください。HDD が故障した場合、データの修復はできません。

本機の廃棄 / 譲渡について

103 ページをお読みください。

■ 撮影内容の補償はできません

HDD の不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、本機を修理した場合（HDD 以外の修理を行った場合も含む）においても同様です。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

HDD/ カード動作中ランプについて

HDD 動作中ランプ [ACCESS HDD]

- HDD アクセス中に点灯します。

カード動作中ランプ [ACCESS]

- SD カードアクセス中に点灯します。

- **HDD　動作中ランプ点灯中に下記の動作を行わないでください。**
  – 強い振動や衝撃を与える
  – モードダイヤルを操作する
  – バッテリー取り外す、または AC アダプターを抜く
- **カード動作中ランプ点灯中に下記の動作を行わないでください。**
  – カード扉を開けて SD カードを抜く
  – モードダイヤルを操作する
  – バッテリー取り外す、または AC アダプターを抜く

- HDD/ カード動作中ランプ点灯中に上記の動作を行うと、HDD/SD カードや HDD/SD カードの記録内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。（モードダイヤルを回してモードを選択中に、HDD/ カード動作中ランプが点灯しますが、このときはモードダイヤルを操作しても問題ありません）

準備する 1

電源の準備

本機で使えるバッテリー（2008 年 12 月現在）

本機で使えるパナソニック製バッテリーは **VW-VBG070/VW-VBG130/VW-VBG260/VW-VBG6** です。

- 本機には、使用できるバッテリーを判別する機能があり、バッテリー（**VW-VBG070/VW-VBG130/VW-VBG260/VW-VBG6**）は、この機能に対応しています。（この機能に対応していないバッテリーは使用できません）
- **VW-VBG6** を使うには、バッテリーパックホルダーキット **VW-VH04**（別売）が必要です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

- DC コードは AC アダプターから抜いておいてください。DC コードがつながっていると、バッテリーの充電はできません。

AC アダプターに電源コードをつないで、バッテリーを取り付ける

充電ランプ［CHARGE］

点灯： 充電中（充電時間：P14）
消灯： 充電完了
点滅： バッテリーや AC アダプターの端子部にごみや汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。（P104）

バッテリーを付ける / 外す

バッテリーを図の向きに取り付ける

「カチッ」と音がして、
ロックがかかるまで押し込む

バッテリーを外すには

必ずモードダイヤルを「OFF」にし、動作表示ランプの消灯を確認してから、落下させないよう手で支えて取り外してください。

矢印の方向に
スライドさせた
状態で取り外す

BATTERY

充電時間と撮影可能時間のめやす

■ 充電時間 / 撮影可能時間（温度 25 ℃ / 湿度 60%）

バッテリー品番 [電圧 / 容量（最小）]	充電時間	記録モード		連続撮影可能時間	実撮影可能時間
付属バッテリー / VW-VBG070（別売） [7.2 V/725 mAh]	約 1 時間 35 分	HDD	XP	約 1 時間 50 分	約 55 分
			SP/LP	約 1 時間 55 分	約 1 時間
		SD	XP/SP/LP	約 2 時間	約 1 時間 5 分
VW-VBG130（別売） [7.2 V/1250 mAh]	約 2 時間 35 分	HDD	XP	約 2 時間 55 分	約 1 時間 30 分
			SP/LP	約 3 時間	約 1 時間 35 分
		SD	XP/SP/LP	約 3 時間 10 分	約 1 時間 45 分
VW-VBG260（別売） [7.2 V/2500 mAh]	約 4 時間 40 分	HDD	XP	約 5 時間 20 分	約 2 時間 50 分
			SP/LP	約 5 時間 35 分	約 2 時間 55 分
		SD	XP/SP/LP	約 5 時間 50 分	約 3 時間 15 分
VW-VBG6 ※（別売） [7.2 V/5400 mAh]	約 9 時間 25 分	HDD	XP	約 13 時間 20 分	約 7 時間
			SP/LP	約 13 時間 50 分	約 7 時間 20 分
		SD	XP/SP/LP	約 14 時間 30 分	約 8 時間 5 分

※ バッテリーパックホルダーキット VW-VH04（別売）が必要です。

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

お知らせ

- 実撮影可能時間とは、撮影/停止、電源の入/切、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- 使用状況によって撮影可能時間は変わります。低温下では撮影可能時間が短くなりますので、予備のバッテリーを準備することをおすすめします。
- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなりますが、異常ではありません。
- 海外でお使いになる場合は 108 ページをご覧ください。

バッテリー残量表示について

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、▭→▭→▭→▭→▭ と表示が変わります。3 分以下になると ▭ が赤色になり、容量がなくなると、▭ が点滅します。
- パナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量時間が表示されます。（時間が表示されるまでしばらく時間がかかります）バッテリー残量時間は使用状況によって変わります。
- バッテリー残量の時間表示は最大 9 時間 59 分です。残量時間が 9 時間 59 分を超える場合、表示が緑色になり 9 時間 59 分未満になるまで変わりません。
- モードダイヤルを回してモードを切り換えたときなどは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- AC アダプターや他社製バッテリー使用時は、バッテリー残量時間は表示されません。

電源コンセントにつないで使う

- **AC アダプターは、付属の AC アダプターまたは VW-AD21-K（別売）をお使いください。他の機器の AC アダプターは使用しないでください。**
- **DC コードをつないでいると、バッテリーの充電はできません。**

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

1 電源コードを AC アダプターにつなぐ

- ❶❷ の順に差し込んでください。

2 DC コードを AC アダプターの DC 出力端子に差し込む

3 DC 入力端子 [DC IN] に DC コードをつなぐ

SD カードを入れる / 出す

電源を入れた状態で SD カードを出し入れすると、本機の誤動作や SD カード内のデータの破壊につながる恐れがあります。

1 モードダイヤルを「OFF」にする

- 動作表示ランプの消灯を確認してください。

2 液晶モニターを開け、カード扉を開く

3 カード挿入部に SD カードを入れる（出す）

- 入れるときはラベル面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む。
- 出すときは、SD カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜く。

4 カード扉を閉じる

準備する
3
モードを選ぶ（電源の入 / 切）

モードダイヤルを回して、撮影・再生・電源「OFF」を切り換えます。

動作表示ランプに合わせる

ロック解除ボタン
「OFF」から他のモードにするときは、押しながら回す

ロック解除ボタンを押しながら、モードダイヤルを 🎥、▶、📷、▶ のいずれかに合わせて電源を入れる

動作表示ランプが点灯し、電源が入ります。

- 「時計を設定してください。」が表示されたときは、時計を合わせてください。（P21）

【電源を切るには】

モードダイヤルを「OFF」に合わせてください。

- 動作表示ランプが消灯し、電源が切れます。

🎥	ビデオ撮影モード（P26）
▶	ビデオ再生モード（P46）
📷	写真撮影モード（P29）
▶	写真再生モード（P49）
OFF	

液晶モニターで電源を入れる / 切る

モードダイヤルが 🎥 または 📷 のときは、液晶モニターを開くと電源が入り、閉じると電源が切れます。

入：　点灯

切：　消灯

- クイックスタートを「入」にしているときは、液晶モニターを閉じるとクイックスタートの待機状態になり、動作表示ランプが緑色点滅します。電源を切るには、クイックスタートを「切」に設定してください。（P32）

本機をご使用にならないときは、モードダイヤルを「OFF」にしてください。

メニュー設定する

ENTER
MENU

1 メニューボタンを押す

- モードダイヤルの位置によって、表示されるメニューは変わります。

2 ジョイスティックでトップメニューを選び、右にたおす、または中央を押す

トップメニュー

よく使う設定
お好み設定
メディア選択
セットアップ
LANGUAGE
選択 決定　終了 MENU

3 サブメニューを選び、右にたおす、または中央を押す

サブメニュー　各メニューの現在の設定

お好み設定
デジタルズーム　切
顔検出枠表示　入
ズームマイク　切
フェード色　白
選択 決定　終了 MENU

4 項目を選び中央を押して決定する

お好み設定
デジタルズーム　切
顔検出枠表示　100x
ズームマイク　700x
フェード色
選択 決定　終了 MENU

【前の画面に戻るには】
ジョイスティックを左にたおす

【メニューの設定を終了するには】
メニューボタンを押す

お知らせ

- メニュー表示中はモードダイヤルを切り換えないでください。
- 撮影中や再生中にメニューは表示できません。また、メニュー表示中に他の操作はできません。

※ 1. マニュアルモード時のみ表示されます。
※ 2. おまかせ iA が入のときは表示されません。
※ 3. メディア選択を「カード」に設定しているときのみ表示されます。
※ 4. メディア選択を「HDD」に設定しているときのみ表示されます。
お使いの機能によって、一部メニューは使用できません。(P93)

ビデオ撮影モード

■ よく使う設定

シーンモード※1(P43)
記録モード(P28)
ワイド設定(P40)
時計設定(P21)
ワールドタイム設定(P22)

■ お好み設定

デジタルズーム(P31)
顔検出枠表示(P39)
風音低減※2(P40)
撮影ガイドライン※2(P41)
ズームマイク(P31)
オートスローシャッター※2(P41)
フェード色(P37)

■ メディア選択

HDD(P26)
カード(P26)

■ セットアップ

画面表示

画面の表示を図のように切り換えられます。

切

iA II
2009.11.15

入

iA II 0h00m00s 1h30m
SP
残 1h20m
2009.11.15

日時表示(P21)
表示スタイル(P21)
カードフォーマット※3(P62)
クイックスタート(P32)

エコモード

切:エコモードは働きません。
5分:約5分間操作しなかった場合、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。

- 以下の場合は「エコモード」を「5分」にしていても自動的に電源が切れません。
  – AC アダプター使用時
  – パソコンやプリンター、DVD バーナーと接続時
  – PRE-REC 中

音声記録※3(P27)
お知らせ音

撮影の開始や終了などを音で確認できます。
「切」にすると、撮影の開始 / 終了時などに音が鳴りません。

「ピッ」
撮影開始時、電源を入れたとき、本機がパソコンやプリンターを認識したときなどに鳴ります。

「ピピッ」
撮影停止時や電源を切ったときに鳴ります。

「ピピッ、ピピッ…(連続4回)」
エラーが起こったときに鳴ります。画面に出るメッセージ表示(P91)の内容を確認してください。

パワー LCD(P23)
液晶調整(P23)
外部表示(P64)
初期設定

機能の組み合わせによって選択できないメニューがあるときなどに、メニューをお買い上げ時の設定に戻します。(「時計設定」と「LANGUAGE」の設定は変わりません)

デモモード

本機の紹介（デモ）を始めます。
（モードダイヤルが 🎥 または 📷 のときのみ）
AC アダプター接続時に、SD カードが入っていない状態で「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。何か操作をするとデモは中断しますが、約 10 分以上操作がないと、再び自動的に始まります。「デモモード」を「切」にすると解除されます。通常は「切」にしてお使いください。

■ LANGUAGE（ランゲージ）

画面に表示される言語を「日本語」または「English」（英語）に設定できます。

📷 写真撮影モード

■ よく使う設定
シーンモード※1（P43）
記録画素数（P30）
時計設定（P21）
ワールドタイム設定（P22）

■ お好み設定
顔検出枠表示（P39）
シャッター効果（P30）
オートスローシャッター※2（P41）
撮影ガイドライン※2（P41）

■ メディア選択
HDD（P29）
カード（P29）

■ セットアップ
- ビデオ撮影モードの同名の項目を参照してください。

■ LANGUAGE（上記）

▶ ビデオ再生モード

■ シーン編集
ロック設定（P53）
分割消去※4（P53）
消去（P51）

（プレイリスト再生モード時）
■ プレイリスト編集
追加（P57）
移動（P57）
消去（P57）

■ メディア選択
HDD（P46）
カード（P46）

■ セットアップ
続きから再生（P47）
接続するテレビ（P64）
HDD フォーマット※4（P61）
HDD 情報表示※4（P61）
- 上記に記載のないメニューは、ビデオ撮影モードの同名の項目を参照してください。

■ LANGUAGE（左記）

📷▶ 写真再生モード

■ 写真の管理
ロック設定（P58）
DPOF 設定※3（P59）
コピー（P60）
消去（P51）
スライドショー間隔（P50）

■ メディア選択
HDD（P49）
カード（P49）

■ セットアップ
接続するテレビ（P64）
- 上記に記載のないメニューは、ビデオ撮影モードの同名の項目を参照してください。

■ LANGUAGE（左記）

時計を設定する

電源を入れたとき、「時計を設定してください。」というメッセージが表示される場合があります。「はい」を選んで、下記手順2からの操作で時計設定をしてください。

● モードダイヤルを または に合わせる

1 メニュー操作する（P18）

「よく使う設定」→「時計設定」→「する」

2 ジョイスティックで合わせる項目（年 / 月 / 日 / 時 / 分）を選び、数字を合わせる

時計設定
2009 11. 15 12:34
選択
設定 決定 終了 MENU

- 年は 2000 → 2001 → … → 2099 → 2000 と変わります。
- 時間は 24 時間表示です。
- ワールドタイム設定（P22）をホームに設定時は「 」が、旅行先に設定時は「 」が画面右上に表示されます。

3 中央を押して決定する

- 決定すると秒が 0 から始まります。

4 メニューボタンを押して設定を終了する

- 日時表示を確認してください。

【年月日・時刻の表示を切り換えるには】

メニュー操作する（P18）：
「セットアップ」→「日時表示」→希望の表示

日付	日時	切
2009.11.15	2009.11.15 12:34	

【表示スタイルを切り換えるには】

メニュー操作する（P18）：
「セットアップ」→「表示スタイル」→希望の表示

表示スタイル	画面表示
年 / 月 / 日	2009.11.15
月 / 日 / 年	11.15.2009
日 / 月 / 年	15.11.2009

お知らせ

- サマータイムにする場合は、時計設定したあと、「ワールドタイム設定」の「ホーム」でサマータイム設定にしてください。
- 時計設定は、内蔵日付用電池を使って記憶させています。時刻表示が「ーー」のときは、内蔵日付用電池が消耗しています。下記の方法で充電したあと、時計を設定してください。

内蔵日付用電池を充電するには

本機にACアダプターをつなぐかバッテリーを取り付けると、内蔵電池が充電されます。約 24 時間そのままにしておくと、約 6ヵ月間時計設定を記憶します。（モードダイヤルが「OFF」になっていても充電しています）

ワールドタイム設定（旅行先の時刻を表示する）

お住まいの地域と旅行先を選び、旅行先の時刻を表示、記録することができます。

1 メニュー操作する（P18）

「よく使う設定」→
「ワールドタイム設定」→「する」

- 時計設定がされていない場合は、まず現在の時刻に合わせてから行ってください。（P21）
- はじめての設定時など「ホーム」（お住まいの地域）が設定されていない場合、メッセージが表示されます。ジョイスティックの中央を押して、手順3に進んでください。

2 （お住まいの地域を設定する場合のみ）ジョイスティックで「ホーム」を選び、中央を押す

3 （お住まいの地域を設定する場合のみ）お住まいの地域を選び、中央で決定する

12:34
東京
ソウル
GMT + 9:00
サマータイム設定
選択 決定 中止 MENU

- 画面左上に、現在の時刻が表示され、左下には GMT（グリニッジ標準時）に対する時差が表示されます。
- ホームがサマータイム（夏時間）の場合は、ジョイスティックを上にたおしてください。「 」が表示されサマータイム設定になり時刻が 1 時間進みます。もう一度上にたおすと元に戻ります。

4 （旅行先の地域を設定する場合のみ）「旅行先」を選び、中央を押す

- はじめてホームを設定した場合のみ、続けてホーム/旅行先の選択画面が表示されます。すでにホームを設定している場合は、手順 1 のメニュー操作を行ってください。

5 （旅行先の地域を設定する場合のみ）旅行先の地域を選び、中央で決定する

12:34 4:34
ベルリン
パリ
ローマ
マドリード
- 8:00
サマータイム設定
選択 決定 中止 MENU

- 画面右上に、選んだ旅行先の現地時間が表示され、画面左下には、ホームに設定した地域との時差が表示されます。
- 旅行先がサマータイム（夏時間）の場合は、ジョイスティックを上にたおしてください。「 」が表示されサマータイム設定になり時刻が 1 時間進みます。もう一度上にたおすと元に戻ります。
- メニューボタンを押して設定を終了してください。「 」が画面に表示され旅行先の時刻になります。

【時刻表示をホームに戻すには】

手順 1 ～3でホームを設定し、メニューボタンを押して設定を終了してください。

お知らせ

- 画面に表示される地域で旅行先が見つからない場合は、ホームからの時差を参考に設定してください。

液晶モニターを調整する

- 実際に記録される映像には影響しません。

明るさや色の濃さを調整する

1 メニュー操作する（P18）

「セットアップ」→「液晶調整」→「する」

2 ジョイスティックで項目を選び、調整する

液晶調整
明るさ 0
色レベル 0
設定
選択 決定 終了 MENU

明るさ　：液晶モニターの明るさ
色レベル：液晶モニターの色の濃さ

- メニューボタンを押して設定を終了します。

液晶モニターを明るくする

メニュー操作する（P18）

「セットアップ」→「パワーLCD」→希望の設定

LCD：Liquid（リキッド） Crystal（クリスタル） Display（ディスプレイ）（液晶モニター）の略です。

オート：周囲の明るさに応じて、自動で明るさを調整する（マニュアルモードまたは再生モード時は表示されません）
+2：さらに明るくする
+1：明るくする
±0：設定解除（標準）
-1：暗くする

お知らせ
- AC アダプター使用時は、自動的に「+1」が表示され画面が明るくなります。
- 液晶モニターを明るくしているときは、バッテリーでの撮影可能時間は短くなります。

撮影前の確認

■ 基本的な構えかた

- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突する恐れがある場所では周囲に十分お気をつけください。

屋外では、なるべく太陽を背にして撮影してください。
逆光では被写体が暗く撮影されます。

両手でしっかりと持つ

グリップベルトに手をとおす

マイク部を手などでふさがない

わきをしめる

足を少し開く

おまかせ iA

被写体や撮影状況に適した設定を自動で行います。

- **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**

iA

おまかせ iA ボタン

ボタンを押して、おまかせ iA モードの入 / 切を切り換えます。

iA: Intelligent（インテリジェント） Auto（オート）の略です。

被写体や撮影状況に合わせて自動的に以下のモードになります。

モード	場面 / 効果
人物	**被写体が人物の場面** 顔を検出し、きれいに映るように明るさを調整します。
風景	**屋外での撮影時に** 背景の空が白とびする場面でも、白とびをさせず風景全体を鮮やかに撮影できます。
スポットライト	**スポットライトがあたる場面など** 極端に明るい被写体をきれいに撮影できます。
ローライト	**薄暗い部屋、夕暮れ時など** 薄暗い屋内や夕暮れ時でもきれいに撮影できます。
ノーマル	**その他の場面** 明るさや色合いを調整し、きれいな映像にします。

お知らせ

- 撮影状況によっては、同じ被写体でも異なるモードに判別されることがあります。
- 本機が自動でモードを判別するため、撮影状況によっては、希望のモードにならない場合があります。
- 入にすると、明るさが急に変化したり、ちらついて見えることがあります。
- 手ブレ補正（P33）はすべてのモードで入になります。
- 入にすると撮影ガイドラインは使用できません。

■ おまかせ iA を切にした場合

「AUTO」が表示されます。
自動で色合い（白バランス）やピント（フォーカス）が合います。
また、被写体の明るさなどによって、絞りとシャッター速度で明るさが自動的に調整されます。（ビデオ撮影モード時：シャッター速度は最大 1/350 まで）

- 光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動で合いません。このような場合は、手動（マニュアル）で調整してください。（P42）

■ 撮影場面に合わせた設定例

大切な撮影の前には、どの設定でどのように撮れるか、ためしておきましょう。以下の設定はめやすです。

場面	設定
体育館	白バランス→（セットモード） ● 光源が複数ある場合、オートでは白バランス調整が正しく働かない場合があります。
披露宴/舞台/発表会	おまかせ iA ● おまかせ iA で白バランス調整が正しく働かない場合は、白バランスを場面ごとに設定してください。
動きの速いシーン（ゴルフのフォームなど）	シーンモード→（スポーツ） 白バランス→オート フォーカス→マニュアル
夜景/花火	白バランス→（屋外モード） フォーカス→マニュアル
運動会	白バランス→オート

- シーンモード/マニュアルフォーカス/白バランスなどマニュアル設定のしかたは42～45ページをお読みください。

ビデオを撮る HDD SD

電源を入れる前に、レンズカバーを開けてください。

1 モードダイヤルを 🎥 に合わせ、液晶モニターを開く

2 記録するメディアを選ぶ

メニュー操作する（P18）：
「メディア選択」→「HDD」または「カード」

3 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して撮影を始める

- 撮影中に液晶モニターを閉じても撮影は続きます。

【撮影を終わるには】

撮影開始 / 一時停止ボタンをもう一度押す

- 「●」「❚❚」が赤色表示のときは記録中です。「❚❚」が緑色表示になるまで本機を動かさないでください。

■ 撮影時の画面表示について

0h00m10s
SP
残12h45m

：記録メディア

SP：記録モード

残 12h45m：残り記録可能時間

（1 分未満になると、「残 0h00m」が赤色点滅します）

0h00m10s：撮影の経過時間

撮影の一時停止ごとに0h00m00sに戻ります。

✎お知らせ

- 撮影を開始してから停止するまでが 1 シーンとして記録されます。
  3.9 GB を超えたシーンは自動的に分割されます。（撮影は続きます）
- 一時停止状態で約 5 分間操作しなかった場合、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度使うときは、電源を入れ直してください。この設定を「切」にすることもできます。（エコモード：P19）
- 撮影中に AC アダプターやバッテリーを外さないでください。電源を入れ直したときに、修復メッセージが表示されることがあります。
  （修復について：P92）

音声記録

SD

SDカードの音声記録方式を切り換えることができます。

● 「メディア選択」を「カード」に設定する

メニュー操作する（P18）

「セットアップ」→「音声記録」→
「DOLBY」または「MPEG」

DOLBY（Dolby Digital）：

DVD バーナーで DVD ビデオを作成するのに適した記録方式です。（P65）

MPEG（MPEG-1 Audio Layer 2）：

SD-Video 規格に準拠した機器で、SD カードを再生するのに適した記録方式です。

✎お知らせ

- お買い上げ時の設定は「MPEG」です。
- 撮影後に本機で記録方式を変換することはできません。付属のソフトウェア VideoCam Suite 2.0 を使うと、ＤＶＤ ビデオを作成した場合は「DOLBY」、ＳＤ カードに書き込んだ場合は「MPEG」で記録されます。
- 本機で撮影したビデオを、当社製テレビ「ビエラ」の SD カードスロットを使って再生する場合は、「MPEG」に設定して撮影してください。「DOLBY」に設定して撮影した場合は、音声が再生されないことがあります。

YouTube にアップロードするビデオを撮る（ウェブモード）

YouTube にアップロードするのに適した 10 分未満のビデオを撮影することができます。

1 ウェブモードボタンを押す

WEB MODE

「 」が画面に表示されます。

2 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して撮影を始める

「9m59s」から残り時間のカウントダウンが始まります。

✎お知らせ

- 記録開始から 10 分後に撮影が自動的に停止します。
- YouTube へビデオをアップロードする方法については、87 ページをお読みください。
- 電源を切るとウェブモードは解除されます。

記録モード / 記録可能時間のめやす

記録するビデオの画質を切り換えます。

メニュー操作する（P18）

「よく使う設定」→「記録モード」→希望の画質

■ HDD

	記録モード		
容量	XP（高画質モード）	SP（標準モード）	LP（長時間モード）
60 GB	約 14 時間	約 27 時間	約 54 時間

画質優先 ⟷ 記録時間優先

■ SD カード

	記録モード		
容量	XP（高画質モード）	SP（標準モード）	LP（長時間モード）
256 MB	約 3 分	約 6 分	約 12 分
512 MB	約 6 分	約 12 分	約 25 分
1 GB	約 12 分	約 25 分	約 50 分
2 GB	約 25 分	約 50 分	約 1 時間 40 分
4 GB	約 50 分	約 1 時間 40 分	約 3 時間 20 分
6 GB	約 1 時間 15 分	約 2 時間 30 分	約 5 時間
8 GB	約 1 時間 40 分	約 3 時間 20 分	約 6 時間 40 分
12 GB	約 2 時間 30 分	約 5 時間	約 10 時間
16 GB	約 3 時間 20 分	約 6 時間 40 分	約 13 時間 20 分
32 GB	約 6 時間 40 分	約 13 時間 20 分	約 26 時間 40 分

画質優先 ⟷ 記録時間優先

- 本機は VBR 記録方式を採用しています。VBR とは Variable Bit Rate（バリアブル ビット レート）（可変ビットレート）の略で、撮影する被写体により、ビットレート（一定時間あたりのデータ量）が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- 短いシーンの撮影を繰り返すと、記録可能時間が短くなる場合があります。

お知らせ

- 以下のような撮影条件では、再生画面にモザイク状のノイズが出る場合があります。
  – 背景に複雑な絵柄がある場合
  – 本機を大きくまたは速く動かした場合
  – 動きの激しい被写体を撮影した場合（特に記録モードを「LP」に設定しての撮影時）
- HDD や SD カードに写真を記録した場合は、ビデオ撮影の記録可能時間は短くなります。

写真を撮る HDD SD

電源を入れる前に、レンズカバーを開けてください。

OFF

1 モードダイヤルを📷に合わせ、液晶モニターを開く

2 記録するメディアを選ぶ

メニュー操作する（P18）：
「メディア選択」→「HDD」または「カード」

3 撮影開始 / 一時停止ボタンを押す

画面の中央の被写体にピントが合います。
（オートフォーカス選択時）

■ 画面表示について

0.2M
残12345

- 🗄 ：記録メディア
- 0.2M ：記録画素数
- 残 12345：残り記録可能枚数
  （「0」になると赤色点滅します）

■ 写真をきれいに撮影するには

- ４倍以上の高倍率ズーム時は、手持ちによる撮影で微妙なブレを抑えるのは難しくなりますので、ズーム倍率を低くして被写体に近づいて撮ることをおすすめします。
- 写真を撮る際は、ブレのないように本機を両手でしっかり持ち、わきをしめて構えてください。
- 三脚を使うと、手ブレのない画像を撮影することができます。

シャッター効果音を入れて撮る

メニュー操作する（P18）

「お好み設定」→「シャッター効果」→「入」

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「入」です。

写真の記録画素数

メニュー操作する（P18）

「よく使う設定」→
「記録画素数」→希望のサイズ

アイコン	画像横縦比	記録画素数
0.3M	4:3	640×480
0.2M	16:9	640×360

お知らせ

- お買い上げ時は「0.2M」に設定されています。本機で記録した横縦比 16:9 の写真は、プリント時に端が切れることがあります。お店やプリンターなどでプリントする場合は、事前にご確認ください。

写真の記録可能枚数

	記録画素数	0.3M (640×480)	0.2M (640×360)
HDD	60 GB	約 99999 枚※	約 99999 枚※
SD	8 MB	約 37 枚	約 37 枚
	16 MB	約 92 枚	約 92 枚
	32 MB	約 200 枚	約 200 枚
	64 MB	約 430 枚	約 430 枚
	128 MB	約 820 枚	約 820 枚
	256 MB	約 1710 枚	約 1710 枚
	512 MB	約 3390 枚	約 3390 枚
	1 GB	約 6790 枚	約 6790 枚
	2 GB	約 13820 枚	約 13820 枚
	4 GB	約 27150 枚	約 27150 枚
	6 GB	約 41280 枚	約 41280 枚
	8 GB	約 55260 枚	約 55260 枚
	12 GB	約 83350 枚	約 83350 枚
	16 GB	約 99999 枚※	約 99999 枚※
	32 GB	約 99999 枚※	約 99999 枚※

※ 本機では、HDD または SD カードに最大 99999 枚の写真を記録できます。

お知らせ

- **撮影される被写体によっては、写真の記録可能枚数は変動します。**
- 記録可能枚数はめやすです。
- HDD や SD カードにビデオを記録した場合は、写真の記録可能枚数は少なくなります。

撮影機能 HDD SD

ズーム

光学で最大 70 倍まで拡大できます。

● **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**

ズームレバーを動かす

VOL
− +
W T

1×W T
10×W T
70×W T

T 側　：大きく撮る（ズームイン：拡大）

W 側 ：広く撮る（ズームアウト：広角）

- ズームレバーを動かす幅によって、ズーム速度が変わります。

お知らせ

- ズーム操作中にズームレバーから指を離すと、操作音が記録されることがあります。レバーを元の位置に戻すときは、静かに戻してください。
- ズーム倍率を大きくしているときは、約1.5 m以上でピントが合います。
- ズーム倍率が 1 倍のときは、レンズから約2 cmまで近づいて撮ることができます。（マクロ機能）
- ズーム速度が速いと、ピントが合わないことがあります。

デジタルズーム

ズーム倍率が 70 倍より大きくなると、デジタルズームになります。デジタルズームの倍率の最大値を切り換えられます。

● **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

メニュー操作する（P18）

「お好み設定」→「デジタルズーム」→ 希望の倍率

切　　：光学ズームのみ（最大 70 倍まで）

100×：デジタルズーム（最大 100 倍まで）

700×：デジタルズーム（最大 700 倍まで）

- 100×、700× のときは、ズーム動作中にデジタルズームの領域が青色で表示されます。

お知らせ

- ズーム倍率を大きくするほど画質は粗くなります。
- 写真撮影モードでは使えません。

ズームマイク機能について

ズーム操作に連動して、望遠では遠くの音、広角では周りの音をよりクリアに収録します。

● **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

メニュー操作する（P18）

「お好み設定」→「ズームマイク」→「入」

対面撮影

● モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

液晶モニターをレンズ側に回転させる

● 液晶モニターに映る映像が鏡のように左右反転しますが、記録される映像は通常どおりです。

お知らせ

● 対面撮影時は、ジョイスティックを押しても操作アイコンは表示されません。
● 画面表示は一部だけになります。「[!]」が表示されたときは、液晶モニターを元に戻して、メッセージ表示を確認してください。(P91)

クイックスタート（すばやく撮影を始める）

液晶モニターを開くと約 0.8 秒で撮影の一時停止状態になります。**クイックスタートの待機状態では、撮影一時停止状態の約 6 割の電力を消費するため、撮影可能時間は短くなります。**

● モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1 メニュー操作する（P18）

「セットアップ」→
「クイックスタート」→「入」

2 モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせた状態で液晶モニターを閉じる

緑色点滅

動作表示ランプが緑色点滅し、クイックスタートの待機状態になります。

3 液晶モニターを開く

赤色点灯

動作表示ランプが赤色点灯し、約 0.8 秒で撮影の一時停止状態になります。

【クイックスタートを解除するには】
「クイックスタート」を「切」に設定する

お知らせ

● お買い上げ時の設定は「入」です。
● 以下の場合には、クイックスタートの待機状態が解除されます。
　– 約 5 分経過する
　– モードダイヤルを切り換える
　– バッテリーを取り外す、またはACアダプターを抜く
● 白バランスがオートモード時にクイックスタートすると、最後に撮影した場面と光源が違う場合、白バランスが自動で調整されるまでに時間がかかることがあります。
（ただし、カラーナイトビュー使用時は、最後に撮影したときの白バランスが保持されます）
● クイックスタートすると、ズーム倍率は約1倍の位置になり、待機する前と比べて画像の大きさが変わることがあります。
● エコモード（P19）が働いて、自動的にクイックスタートの待機状態になった場合は、液晶モニターを閉じて、再度開いてください。

光学式手ブレ補正

手ブレによる映像のゆれを軽減します。

● モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

手ブレ補正ボタンを押す

O.I.S.

O.I.S.: Optical Image Stabilizer（光学式手ブレ補正）の略です。

「((✋))」が画面に表示されます。

【手ブレ補正を解除するには】
もう一度、手ブレ補正ボタンを押す

お知らせ

- お買い上げ時は入に設定されています。
- 手ブレ補正を切にするときは、おまかせ iA を切にしてから設定してください。
- 三脚使用時は、手ブレ補正を使わないことをおすすめします。
- 以下の場合は、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - デジタルズーム使用時
  - ブレが大きいとき
  - 動きのある被写体を追いながら撮影するとき

ビデオライト

暗い場所でも明るく撮影することができます。

● モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

ビデオライトボタンを押す

LIGHT

押すごとに切り換わります。

ライトアイコン：点灯
ライトアイコンA：オート
周囲が暗いときに、自動的に点灯します。
非表示：切

お知らせ

- ビデオライトの使用可能範囲（めやす）は約 1.3 m です。
- ビデオライトを使用すると、バッテリーでの撮影可能時間は短くなります。
- 同時にカラーナイトビューを使うと、さらに明るく撮影することができます。
- きれいに撮影するために、明るい場所でもビデオライトを点灯することをおすすめします。
- 電源を切るか、モードダイヤルを操作すると切になります。
- ビデオライト点灯時は、液晶モニターが暗くなります。
- コンバージョンレンズ（別売）使用時は、光がさえぎられるため、ビデオライトは使用できません。
- ライトの使用が禁止されている場所や、オート時に明るい場所でもライトが消えない場合は、切に設定してください。

操作アイコンを選んで
撮影機能を使う HDD SD

操作アイコンを選ぶと、いろいろな効果をつけて撮影できます。

ENTER

● モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1 ジョイスティックの中央を押して、画面に操作アイコンを表示する

1/3次へ

- ジョイスティックを下にたおすごとに、表示が切り換わります。
- 中央を押すと操作アイコンが表示 / 非表示されます。

2 アイコンを選ぶ

1/3次へ

【解除するには】
もう一度アイコンを選ぶ

操作アイコン一覧
逆光補正 / フェード / ヘルプモード / カラーナイトビュー / 美肌モード / PRE-REC(プリレック)/ 顔検出 / セルフタイマー

ビデオ撮影モード

1/3 次へ	逆光補正	フェード	ヘルプモード
2/3 次へ	カラーナイトビュー	美肌モード	P.REC PRE-REC ※1
3/3 次へ	顔検出 ※2		

※ 1.「メディア選択」を「カード」に設定しているときのみ表示されます。
※ 2. おまかせ iA が入のときは表示されません。

- 　　　部分の機能は撮影中は表示されません。

お知らせ

- 逆光補正、カラーナイトビューは電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。
- フェードは電源を切ると解除されます。
- PRE-REC は以下の場合に解除されます。
  - 電源を切る
  - モードダイヤルを操作する
  - SD カード扉を開ける
  - バッテリーを取り外す、または AC アダプターを抜く
  - メニューボタンを押す
  - 3 時間経過する

写真撮影モード

	逆光補正	セルフタイマー	ヘルプモード
1/3 次へ			
2/3 次へ	美肌モード		
3/3 次へ	顔検出※		

※ おまかせ iA が入のときは表示されません。

お知らせ

- 逆光補正は電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。
- セルフタイマーは電源を切ると解除されます。

機能	効果
逆光補正	逆光で被写体の後ろ側から光が当たって暗くなるのを防ぐため、画面の映像を明るくします。
フェード (フェードイン) (フェードアウト)	撮影を開始すると映像と音声が数秒かけて徐々に現れ(フェードイン)、撮影を一時停止すると、映像と音声が数秒かけて徐々に消えます(フェードアウト)。 ● フェードアウト時は、完全に映像/音声が消えたあとに記録が停止して、フェード設定が解除されます。 ■ フェードする色を選ぶには(白または黒) メニュー操作する(P18): 「お好み設定」→「フェード色」→「白」または「黒」
ヘルプモード 使用方法 知りたい機能の方向にジョイスティックをたおしてください。 終了 1/3次へ 設定 終了 MENU	ジョイスティックで知りたい機能のアイコンを選ぶと、選んだアイコンの説明を画面に表示します。 【ヘルプモードを終了するには】 メニューボタンを押す、または「終了」を選ぶ
カラーナイトビュー	暗い場所でも、カラーで明るく浮かび上がらせて撮影できます。 ● 最低照度:約 2 lx ● 三脚を取り付けて使うと、ブレの少ない映像が撮れます。 ● ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで調整してください。(P43)

お知らせ

フェード:

- フェードインで撮影したシーンは、再生時のサムネイル表示が白一色(または黒一色)になります。

ヘルプモード:

- ヘルプモード中は撮影や機能設定ができません。

カラーナイトビュー:

- **撮影した映像はコマ落としのようになります。**
- カラーナイトビューは、CCDの信号蓄積時間を最大で通常の約 30 倍にすることにより、通常では見えない暗い場面もカラーで明るく映し出すことができる機能です。このため、通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。
- 明るい場所で設定すると、しばらくの間画面が白くなることがあります。

機能	効果
美肌モード	**肌の色をソフトに見せ、よりきれいに撮影できます。** 人物の胸から上を大きく撮る場合に効果的です。
P.REC PRE-REC SD	**撮影開始 / 一時停止ボタンを押す約３秒前からの映像や音声を記録します。** 「PRE-REC」が画面に表示され、内蔵メモリーで約３秒間の映像の記録と消去の更新を繰り返している状態になります。 ● **本機を被写体に向けてしっかり構えてください。** **撮影開始 / 一時停止ボタンを押して撮影を始める** ● 撮影開始/一時停止ボタンを押す約3秒前からの映像や音声を記録します。 ● お知らせ音は鳴りません。 ● 一度撮影を開始すると、PRE-REC の設定は解除されます。

お知らせ

美肌モード：

- 背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
- 人物を小さく撮影すると顔がぼけて映る場合があります。そのときは美肌モードを解除するか、顔を大きく（アップで）撮影してください。

P.REC PRE-REC：

- ビデオの残り記録可能時間が1分未満のときは、PRE-REC を設定できません。
- PRE-REC を設定してから約 3 秒以内に撮影を開始した場合や、クイックスタートして約 3 秒以内の PRE-REC 表示点滅中は、3 秒前からの映像は記録できません。
- 撮影開始 / 一時停止ボタンを押したときのカメラブレや操作音が記録される場合があります。
- PRE-REC 機能を使って撮影したシーンのサムネイル表示は、記録されたシーンの最初の映像になります。
- PRE-REC 機能を使って撮影したシーンの日時表示は、撮影開始 / 一時停止ボタンを押したときの日時になります。
  サムネイル表示や再生中の日時表示は、実際に撮影を開始した日時と異なる場合があります。

機能	効果
顔検出	**被写体の後ろ側から光が当たって暗く映るときなどに、人の顔がきれいに映るように顔を検出して、明るさや画質を自動で調整します。** 顔検出モードになると、検出された顔が枠で囲まれます。 ● 検出する枠は最大 5 個で、大きいもの、画面の中心に近いものが優先されます。 ● 画面に収まっていない顔は検出されません。 **■ 顔検出枠を表示するには** **メニュー操作する（P18）：** **「お好み設定」→「顔検出枠表示」→「入」** ● お買い上げ時は「入」に設定されています。 ● 顔検出枠を非表示にする場合は「切」に設定してください。
セルフタイマー	**タイマーを使って写真を撮影できます。** **撮影開始 / 一時停止ボタンを押すと、「」が 10 秒間点滅したあと撮影されます。** ● 撮影後、セルフタイマーは解除されます。 **【セルフタイマーを途中で止めるには】** メニューボタンを押す（セルフタイマーは解除されます）

お知らせ

顔検出：

- 以下の場合など、撮影状況によっては顔が検出できないことがあります。
  - 顔が正面を向いていないとき
  - 顔が傾いているとき
  - 顔が極端に明るいときや暗いとき
  - 顔の陰影が少ないとき
  - サングラスなどで顔が隠れているとき
  - 画面上の顔が小さく映っているとき
  - 動きが速いとき
  - 手ブレしているとき
  - デジタルズーム使用時
  - 本機を傾けたとき
- 以下の場合など、撮影状況によっては顔を検出しても正しく働かないことがあります。そのときは解除してください。
  - 人物以外の被写体を顔と認識したとき
  - 極端に暗い場面、または顔の周辺や背景が極端に明るい場面で、きれいに明るさや画質が調整されないとき
- 検出された顔に優先してピントを合わせる機能はありません。
- 顔がきれいに映るように映像全体の明るさなどを調整しますので、撮影状況によっては明るさが急に変化したり、ちらついて見えることがあります。
- ズーム操作などで顔検出枠が消えた場合は、明るさが急に変化したり、ちらついて見えることがあります。

メニュー設定して 撮影機能を使う HDD SD

● モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

メニュー一覧
ワイド設定 / 風音低減 / 撮影ガイドライン / オートスローシャッター

機能	効果 / 設定方法
ワイド設定 （モードダイヤルが 🎥 のときのみ）	**ワイドテレビの画面（16:9）と通常のテレビの画面（4:3）それぞれの比率に対応した映像を撮影できます。** **メニュー操作する（P18）：** **「よく使う設定」→「ワイド設定」→「4:3」または「ワイド」** ● お買い上げ時は「ワイド」に設定されています。
風音低減 （モードダイヤルが 🎥 のときのみ）	**風の強さに応じて、マイクに当たる風音ノイズを低減します。** ● おまかせ iA を切にする（P24） **メニュー操作する（P18）：** **「お好み設定」→「風音低減」→「入」** ● お買い上げ時の設定は「入」です。 ● 解除するには、「切」に設定してください。

お知らせ

風音低減：
- おまかせ iA が入の場合は、風音低減は「入」になります。
- 風の強さに応じて、マイクの風音ノイズを低減します。（強風下でご使用の場合は、ステレオ感がなくなることがありますが、風が弱くなると自動的に元のステレオ感のある音質に戻ります）

機能	効果 / 設定方法
撮影ガイドライン	撮影時に映像が水平になっているか確認することができます。 ● おまかせ iA を切にする（P24） **メニュー操作する（P18）：** **「お好み設定」→「撮影ガイドライン」→「入」** ● 解除するには、「切」に設定してください。
オートスローシャッター	暗い場所でシャッター速度を遅くすることによって、明るく撮ることができます。 ● おまかせ iA を切にする（P24） **メニュー操作する（P18）：** **「お好み設定」→「オートスローシャッター」→「入」** ● 解除するには、「切」に設定してください。

お知らせ

撮影ガイドライン：

- ガイドラインは実際に記録される映像には影響しません。
- 対面撮影時は、ガイドラインは表示されません。

オートスローシャッター：

- オートスローシャッター設定時は、最も遅いシャッター速度が1/60から1/30になります。
- シャッター速度が1/30になったときは、画面がコマ落としのようになったり、残像が出る場合があります。
- 低照度で暗い、またはコントラストが少ないシーンでは、ピントが合わないことがあります。

マニュアルで撮る HDD SD

● モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

マニュアルボタンを押す

MANUAL
AF/MF

マニュアルモード

MNL
WB
IRIS
SHTR
4/4次へ

マニュアルフォーカスモード

MNL
MF
MF−
MF+
5/5次へ

マニュアルボタン

押すごとに切り換わります。

マニュアルモード

図の操作アイコンが表示されます。

WB 白バランス

IRIS 明るさ（絞り・ゲイン）

SHTR シャッター速度

マニュアルフォーカスモード

マニュアルフォーカス「MF」と図の操作アイコンが表示されます。

MF− MF+ マニュアルフォーカス調整

シーンモード

撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や絞りが調整されます。

1 マニュアルモードにする（P42）

2 メニュー操作する（P18）

「よく使う設定」→
「シーンモード」→希望の設定

表示	モード	撮影条件
	スポーツ	スポーツシーンなど、動きの速い場面で
	人物	背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる
	ローライト	夕暮れなど、暗い場面で明るく
	スポットライト	スポットライトが当たる人物をきれいに
	サーフ＆スノー	海辺やスキー場など、まぶしい場面で

【シーンモードを解除するには】

「シーンモード」を「切」に設定する

- おまかせ iA ボタンを押しても解除できます。

お知らせ

スポーツモード：

- 撮ったものをスロー再生したり、再生を一時停止したときに、ブレの少ない映像になります。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかには見えません。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下では色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ることがあります。
- 明るさが足りない場合はスポーツモードが働きません。このときは、「M」が点滅します。
- 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。

人物モード：

- 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。このときはシーンモードを「切」にしてお使いください。

ローライトモード：

- 極端に暗い場面ではきれいに撮れないことがあります。

スポットライトモード：

- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。また、周囲が極端に暗くなることがあります。

サーフ＆スノーモード：

- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。

マニュアルフォーカス

自動でピントが合いにくいときに調整してください。

1 マニュアルフォーカスモードにする（P42）

2 ジョイスティックでピントを調整する

MNL
MF
MF −
MF ＋
5/5 次へ

【オートフォーカスに戻すには】

もう一度、マニュアルボタンを押す

- おまかせ iA ボタンを押してもオートフォーカスに戻せます。

安全上のご注意
はじめに
撮る
見る
パソコンで使う
大事なお知らせなど

白バランス（ホワイトバランス）設定（自然な色合いにする）

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

1 マニュアルモードにする（P42）

2 ジョイスティックで「WB」を選ぶ

3 白バランスのモードを選ぶ

表示	モード	撮影条件
AWB	オート	—
(白熱電球アイコン)	屋内（白熱電球）	白熱電球、ハロゲンランプ
(太陽アイコン)	屋外	屋外の晴天下
(蛍光灯アイコン)	蛍光灯	当社のパルック蛍光灯など
(セットアイコン)	セット	● 水銀灯、ナトリウム灯、一部の蛍光灯 ● ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト ● 日没・日の出など

【自動設定に戻すには】

白バランスの設定をオートモード「AWB」にする

- おまかせiAボタンを押しても自動設定に戻せます。

手動で白バランスの設定をするには

1 ジョイスティックで「(セットアイコン)」（セットモード）を選び、画面いっぱいに白い被写体を映す

2 「(セットアイコン)」を選ぶ

「(セットアイコン)」表示が点滅から点灯に変わると、設定完了です。

- 「(セットアイコン)」が点滅し続ける場合は、周囲が暗いなどの理由でセットモードでの設定ができません。このときは、オートモードを使ってください。

お知らせ

- レンズカバーを閉じたまま電源を入れると、オートホワイトバランスが正しく合いません。必ずレンズカバーを開けてから電源を入れてください。
- 「(セットアイコン)」が点滅している場合は、以前にセットモードで設定した内容が保持されています。撮影条件が変わった場合は、正確に合わせるために毎回設定し直してください。
- 白バランスと絞り・ゲインの両方を設定するときは、白バランスを設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。

シャッター速度 / 明るさ（絞り・ゲイン）調整

SHTR シャッター速度：
動きの速いものを撮るときなどに調整してください。
IRIS 絞り・ゲイン：
暗すぎる（明るすぎる）場面で撮るときなどに調整してください。

1 マニュアルモードにする (P42)

(P42)

2 ジョイスティックで「IRIS」または「SHTR」を選ぶ

3 調整する

1/100 ： シャッター速度
OPEN ： 絞り値
0dB ： ゲイン値

<シャッター速度の調整>

🎥 ：1/60 ～ 1/8000
📷 ：1/60 ～ 1/500

- 1/8000 に近いほど、シャッター速度が速くなります。
- オートスローシャッターが「入」に設定されているときは、最も遅いシャッター速度は 1/30 になります。

<絞り・ゲインの調整>

CLOSE⟷F16 … F2.2⟷OPEN⟷0dB … 18dB
暗くする ⟵⟶ 明るくする

- 絞り開放（OPEN）より明るくするときは、ゲイン値の調整になります。

【自動設定に戻すには】
おまかせ iA ボタンを押す

■ 動きの速いものを撮影する場合のシャッター速度のめやす

再生時に一時停止すると残像が少なくなります。

撮影対象	シャッター速度
ゴルフやテニスのスイング	1/500 ～ 1/2000
ジェットコースター	1/500 ～ 1/1000

お知らせ

- シャッター速度と絞り・ゲインの両方を設定するときは、シャッター速度を設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。

シャッター速度：

- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- マニュアルでシャッター速度を速くすると、画面にノイズが増えることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ているように撮れることがありますが、故障ではありません。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかに見えないことがあります。
- 極端に明るい場所や被写体を撮影すると、画面の色が変わったり、ちらついたりすることがあります。この場合、マニュアルでシャッター速度を 1/60 または 1/100 に調整してください。

絞り・ゲイン：

- ゲイン値を上げると、画面にノイズが増えます。
- ズーム倍率によっては、表示されない絞り値（F 値）があります。

ビデオを再生する HDD SD

ENTER

▶/❚❚: 再生 / 一時停止
|◀◀: スキップ再生（シーンの頭出しをする）
▶▶|: スキップ再生（シーンの頭出しをする）
■: 停止してサムネイル表示に戻る

1 モードダイヤルを ▶ に合わせる

2 再生するメディアを選ぶ

メニュー操作する（P18）：
「メディア選択」→「HDD」または「カード」

3 ジョイスティックで再生するシーンを選び、中央を押して決定する

前のページへ
次のページへ
2009.11.15 12:43 16/16 0:03.05 006-00B
選択 再生

シーン番号
（ページ番号：サムネイル選択時以外）

選んだシーンが再生され、操作アイコンが自動的に表示されます。

4 再生操作する

ページ選択について

- ジョイスティックで［ < ］/［ > ］を選び、中央を押してください。
- ジョイスティックを左右にたおし続けると、ページを早送り/早戻しすることができます。このとき、サムネイルは表示されませんが、シーン / ページ番号が変わります。
再生したいシーンのあるページでジョイスティックを離してください。

✎お知らせ

- 通常再生以外では音声は出ません。
- 記録時間が短いシーンは再生できない場合があります。
- サムネイルが「[!]」で表示されるシーンは再生できません。
- 液晶モニターを閉じても電源は切れません。
- 他の機器でSDカードに記録したビデオの再生、または本機で SD カードに記録したビデオの他の機器での再生は、画像が悪くなったり再生できない場合があります。
- 他の機器で SD カードに記録したビデオを再生すると、日時表示が撮影日時と異なったり、サムネイル表示に時間がかかることがあります。
- 他の機器で SD カードに記録したビデオを再生すると、再生中は撮影時刻は表示されません。

再生速度を変える

- ジョイスティックを上にたおすと、通常再生に戻ります。

■ 早送り / 早戻し再生

再生中に早送り / 早戻しになるまでジョイスティックを左右にたおし続ける

- もう一度ジョイスティックをたおすと、早送り / 早戻し速度が速くなります。

■ スロー再生

1）再生中に一時停止する

2）ジョイスティックを左右にたおしたままにする

■ コマ送り再生

1）再生中に一時停止する

2）ジョイスティックを左右にポンとたおす

音量を調整する

ボリュームレバーを動かす

VOL
－ ＋
W T

＋側 ：音量を上げる
－側 ：音量を下げる

前回の続きから再生

メニュー操作する（P18）

（P18）

「セットアップ」→「続きから再生」→「入」

再生を停止すると、続きから再生が設定されたシーンのサムネイルに「R」が表示されます。

【続きから再生を解除するには】

「続きから再生」を「切」に設定する

✎お知らせ

- 続きから再生の開始位置は、シーンを編集するなどで解除されます。

安全上のご注意
はじめに
撮る
見る
パソコンで使う
大事なお知らせなど

日付別に再生

同じ日に撮影されたシーンのみを続けて再生します。

1 ジョイスティックで「DATE(日付け別)」を選び、中央を押す

2 再生したい日付を選び、中央を押す

(HDD を再生する場合)

(SD カードを再生する場合)

3 再生を始めたいシーンを選び、中央を押して決定する

【他の日付を選ぶには】
DATE(日付け別)を選び、中央を押す

【全シーンの再生に戻るには】
ALL(全シーン)を選び、中央を押す

お知らせ

- 同じ日に撮影されたシーンでも、以下の場合には分かれて表示されます。
  - シーン数が 99 を超えたとき
  - ワールドタイム設定を変更したとき

プレイリストを再生する

HDD

新しいプレイリストを作成するには：(P56)

1 ジョイスティックで「PL(プレイリスト)」を選び、中央を押す

2 再生したいプレイリストを選び、中央を押す

3 再生を始めたいシーンを選び、中央を押して決定する

【他のプレイリストを選ぶには】
PL(プレイリスト)を選び、中央を押す

【元のシーンの再生に戻るには】
ALL(全シーン)を選び、中央を押す

写真を再生する HDD SD

ENTER

▶/❚❚: スライドショーの開始 / 一時停止
◀❚❚: 前の写真を再生
❚❚▶: 次の写真を再生
■: 停止してサムネイル表示に戻る

1 モードダイヤルを ▶ に合わせる

2 再生するメディアを選ぶ

メニュー操作する（P18）：
「メディア選択」→「HDD」または「カード」

3 再生する写真を選び、中央を押して決定する

前のページへ
次のページへ
16/16
2009.11.15 12:34
選択 再生
100-0016

写真番号
（ページ番号：< / > 選択時）

- ページ選択の方法は、「ビデオを再生する」と同じです。（P46）

選んだ写真が再生され、操作アイコンが自動的に表示されます。

4 再生操作する

■ 写真の互換性について

- 本機は社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（デザイン ルール フォー カメラ ファイル システム）
  (Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できる写真のファイル形式は JPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
- 規格外の写真を再生すると、フォルダ / ファイル名が表示されない場合があります。
- 他の機器で記録 / 作成した写真の本機での再生、本機で記録した写真の他の機器での再生は、正常に再生されなかったり、再生できない場合があります。

お知らせ

- SD カードにアクセス中（カード動作中ランプ点灯中）は、カード扉を開けたり SD カードを抜かないでください。
- スライドショー中は、モードダイヤルを操作しないでください。
- 記録画素数によっては、写真の表示に時間がかかる場合があります。
- サムネイルが「[!]」で表示される写真は再生できません。
- 他の機器で SD カードに記録した写真を再生すると日時表示が撮影日時と異なったり、サムネイル表示に時間がかかることがあります。
- 液晶モニターを閉じても電源は切れません。

スライドショーの再生間隔を変更する

メニュー操作する（P18）

「写真の管理」→「スライドショー間隔」→希望の設定

短い：約 1 秒

普通：約 5 秒

長い：約 15 秒

お知らせ

- お買い上げ時は「普通」に設定されています。
- 画像サイズが大きい写真は、次の写真が表示されるまでに、設定した時間より長くかかったり、設定を変更しても短くならない場合があります。

消去 HDD SD

消去したシーン / 写真は元に戻りませんので、記録内容を十分に確認してから消去の操作を行ってください。

ENTER

- **ビデオを消去するには： モードダイヤルを ▶ に合わせる**
- **写真を消去するには： モードダイヤルを ▶ に合わせる**
- **「メディア選択」を「HDD」または「カード」に設定する**

- シーンから不要な部分を消去するときは、分割消去機能をお使いください。（P53）

シーン / 写真を1つずつ確認しながら消去する

1 再生中に 🗑 ボタンを押す

2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選び、ジョイスティックの中央を押す

複数のシーン / 写真を一度に消去する

1 サムネイル表示で 🗑 ボタンを押す

2 ジョイスティックで「選択消去」または「全消去」を選び、中央を押す

（「全消去」を選んだ場合のみ）
- ロック設定されたシーン / 写真を除いて、HDD または SD カード内のすべてのシーン / 写真が消去されます。
  手順5に進んでください。
- ビデオ再生で日付別再生を選択しているときは、選択されている日付のすべてのシーンが消去されます。

3 (手順2で「選択消去」を選んだ場合のみ)
消去するシーンまたは写真を選び、中央を押す

選択消去
16/16
消去 終了MENU
選択 決定

- シーン/写真が赤色の枠で囲まれます。
- もう一度押すと、解除されます。
- 最大50シーン/写真まで続けて選択できます。

4 (手順2で「選択消去」を選んだ場合のみ)
ボタンを押す

5 確認のメッセージが出たら、
「はい」を選び、中央を押す

(手順2で「選択消去」を選んだ場合のみ)
【他のシーン/写真も続けて消去するには】
手順3～5を繰り返す

【消去を終了するには】
メニューボタンを押す

お知らせ

- メニューからも消去できます。
「シーン編集」/「写真の管理」→「消去」→「全消去」または「選択消去」
- 全消去の場合、シーン/写真が多数あると消去に時間がかかることがあります。

コピー済みのシーンを一度に消去する

DVDバーナーや付属のソフトウェアVideoCam Suite 2.0の簡単DVD機能を使ってディスクにコピーしたシーンを、まとめて消去することができます。

16/16
2009.11.15 12:43 0:03.05
選択 再生 006-008

コピー済みのシーンには、サムネイルに「☑」が表示されます。(P67、86)

1 メニュー操作する(P18)

「シーン編集」→「消去」→「コピー済み消去」

2 確認のメッセージが出たら、
「はい」を選び、ジョイスティックの中央を押す

お知らせ

- ロックされたシーンや、コピー済みの情報が失われたシーンは、消去できません。

■ 消去を途中でやめるには

消去中にメニューボタンを押す
- 途中まで消去されたシーン/写真は元に戻りません。

■ シーン/写真の消去について

- 消去中は電源を切らないでください。
- 消去するときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプターを使用してください。
- SDカード内のシーンや写真を消去中に、カード扉を開けたり、カードを抜いたりしないでください。消去が中断されます。
- DCF規格に準拠した写真を消去すると、関連するデータもすべて消去されます。
- 他の機器でSDカードに記録した写真を消去する場合は、本機で再生できない写真(JPEG以外のファイル)でも消去されることがあります。
- パソコンや他の機器でSDカードに写真をコピーした場合、本機で表示できない画像は消去できません。

ビデオを編集する

● モードダイヤルを [▶] に合わせる

機能	操作方法
ロック設定 HDD SD 誤って消去しないように、ロック設定できます。 (ロックしていても、HDD または SD カードをフォーマットした場合は消去されます)	●「メディア選択」を「HDD」または「カード」に設定する **1) メニュー操作する (P18):** **「シーン編集」→「ロック設定」→「する」** **2) ロックするシーンを選び、中央を押す** 「O┳」表示が出てロックされます。 ● 解除するには、もう一度ジョイスティックを押します。 ● 複数のシーンを続けて設定できます。 **【設定を終了するには】** メニューボタンを押す
分割消去 HDD シーンを 2 つに分割し、分割点より前または後ろの部分を消去します。	●「メディア選択」を「HDD」に設定する **1) メニュー操作する (P18):** **「シーン編集」→「分割消去」→「する」** **2) ジョイスティックで分割したいシーンを選び、中央を押す** (次ページにつづく)

安全上のご注意
はじめに
撮る
見る
パソコンで使う
大事なお知らせなど

機能	操作方法
分割消去（つづき） HDD	3）分割したい位置でジョイスティックを下にたおし、 **「✂」を選んで分割点を設定する** ● ジョイスティックを左右にたおすと、早送り/早戻しができます。 ● 分割点を設定するときは、スロー再生やコマ送り再生をお使いになると便利です。（P47） **4）消去する部分を選び、中央を押して決定する** **5）「はい」を選び、中央を押して消去する部分を確認する** ●「いいえ」を選んだ場合は、確認のメッセージが表示されます。手順 6 に進んでください。 再生を停止すると、確認のメッセージが表示されます。 **6）「はい」を選び、中央を押す** **【他のシーンも続けて分割消去するには】** 手順 2 から 6 を繰り返す **【終了するには】** メニューボタンを押す **お知らせ** ● 撮影時間の短いシーンは分割消去できない場合があります。消去されない部分を 3 秒以上残してください。 ● シーンの先頭や終端では分割点の設定はできません。 ● 分割消去したシーンをDVDバーナーや付属のソフトウェアVideoCam Suite 2.0 でディスクにコピーして再生した場合、消去した部分が最大で約 1 秒間再生されることがあります。 ●「☑」が表示されているシーンを分割消去すると、コピー済みの情報が消去されます。（P67） ● 実際の分割点は、指定した分割点からわずかにずれる場合があります。

プレイリスト機能を使う HDD

撮影したシーンの中から、お好みのシーンを集めてプレイリストを作成します。
プレイリストは映像のデータをコピーして作るわけではありませんので、作成しても HDD の容量はほとんど使いません。

- プレイリストを作成したり消去しても、元のシーンはなくなりません。また、プレイリストのシーンを編集しても、元のシーンには影響しません。

撮影したシーン

プレイリスト

お知らせ

- プレイリストは HDD のみ作成できます。SD カードでは、プレイリストを作成することはできません。
- プレイリストの最大記録数：4
  プレイリストのシーンの最大記録数：99
- 元のシーンを消去した場合は、そのシーンから作られた部分がプレイリストから消去されます。

新しいプレイリストを作成する

● モードダイヤルを [▶] に合わせる
●「メディア選択」を「HDD」に設定する

1 ジョイスティックで「PL(プレイリスト)」を選び、中央を押す

2「新規作成」を選び、中央を押す

3 プレイリストに登録したいシーンを選び、中央を押す

シーンが赤色の枠で囲まれます。
- もう一度押すと、解除されます。
- 最大 50 シーンまで続けて設定できます。
- プレイリスト上でのシーンの順番は、ここで選んだ順番になります。

4 メニューボタンを押す

5 確認のメッセージが出たら
「はい」を選んで、中央を押す

プレイリストを編集する

プレイリストのシーンを編集しても、元のシーンには影響しません。

● モードダイヤルを [▶] に合わせる
●「メディア選択」を「HDD」に設定する

1 ジョイスティックで「PL(プレイリスト)」を選び、中央を押す

2 編集したいプレイリストを選び、中央を押す

機能	操作方法
プレイリストのシーンを消去する	**プレイリストのシーンの消去方法は、シーンの消去と同じです。(P51)** ● プレイリストのシーンを消去しても、元のシーンは消去されません。 ● 「全消去」を選ぶと、選択したプレイリストが消去されます。 ● メニューボタンを押し、「プレイリスト編集」→「消去」→「全消去」または「選択消去」に設定してもシーンの消去をすることができます。 ● プレイリストのシーンを消去しても、HDD の残量は増えません。 ● 1つのプレイリストに含まれるシーンをすべて消去すると、プレイリスト自体も消去されます。 ● プレイリストが消去されると、それ以降のプレイリストの番号が自動的に繰り上がります。
プレイリストにシーンを追加する **作成されたプレイリストにシーンを追加することができます。**	**メニュー操作する(P18)：** **「プレイリスト編集」→「追加」→「する」** 以降の操作は「新しいプレイリストを作成する」(P56)の手順 3 ～ 5 と同じです。
プレイリストのシーンを移動する **シーンを移動させて、プレイリストのシーンの並び順を変更することができます。**	**1）メニュー操作する(P18)：** **「プレイリスト編集」→「移動」→「する」** **2）ジョイスティックで移動したいシーンを選び、中央を押す** 選んだシーンが赤色の枠で囲まれ、挿入点が黄色のバーで表示されます。 **3）挿入する場所を選び、中央を押す** **【他のシーンも続けて移動するには】** 手順 2 ～ 3 を繰り返す **【編集を終了するには】** メニューボタンを押す

写真を編集する

● モードダイヤルを ▶ に合わせる

機能	操作方法
ロック設定 HDD SD 誤って消去しないように、写真をロック設定できます。 (ロックしていても、HDDまたはSDカードをフォーマットした場合は消去されます)	●「メディア選択」を「HDD」または「カード」に設定する **1) メニュー操作する (P18):** **「写真の管理」→「ロック設定」→「する」** **2) ジョイスティックでロックする写真を選び、中央を押す** ロック設定 16/16 2009.11.15 12:34 0.2M 選択 決定 終了 MENU 「 O-π 」表示が出てロックされます。 ● 解除するには、もう一度ジョイスティックを押します。 ● 複数の写真を続けて設定できます。 **【設定を終了するには】** メニューボタンを押す

機能	操作方法
ディーポフ DPOF 設定 SD **プリントしたい写真、プリント枚数の情報（DPOF データ）を SD カードに書き込むことができます。** **■ DPOF とは** デジタル プリント オーダー フォーマット Digital Print Order Format の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるように、プリント情報を書き込むことができるようにしたものです。	●「メディア選択」を「カード」に設定する **1）メニュー操作する（P18）：** **「写真の管理」→「DPOF 設定」→「設定」** **2）ジョイスティックで設定する写真を選び、中央を押す** **3）プリントする枚数を選び、中央を押す** ● 設定を解除するには、0 枚に設定します。 ● 複数の写真を続けて設定できます。 **【設定を終了するには】** メニューボタンを押す **【DPOF 設定をすべて解除するには】** メニュー操作する（P18）： 「写真の管理」→「DPOF 設定」→「全て解除」 **お知らせ** ● DPOF 設定は最大 999 ファイルまで設定できます。 ● 他の機器で DPOF 設定をすると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で行ってください。 ● DPOF 設定で日付プリントを指定することはできません。

機能	操作方法
コピー HDD SD HDD と SD カードの間で写真をコピーできます。	**1）メニュー操作する（P18）：「写真の管理」→「コピー」** **2）コピーする方向を選ぶ** HDD→SD：HDD から SD カードにコピーする SD→HDD：SD カードから HDD にコピーする **3）ジョイスティックで「選択」または「全て」を選び、中央を押す** ● 「全て」を選んだ場合は、HDD または SD カード内のすべての写真がコピーされます。手順 6 に進んでください。 **4）**（手順 3 で「選択」を選んだときのみ） **コピーしたい写真を選び、中央を押す** カードへのコピー 16/16 選択 決定 次へ MENU 選んだ写真が赤色の枠で囲まれます。 ● もう一度ジョイスティックを押すと、解除されます。 ● 最大 50 ファイルまで続けて選択できます。 ● コピー先に記録される写真の順番は、選んだ順番になります。 **5）**（手順 3 で「選択」を選んだときのみ） **メニューボタンを押す** **6）**確認のメッセージが出たら、 **「はい」を選び、中央を押す** （手順 3 で「選択」を選んだときのみ） **【続けてコピーするには】** 手順 4 ～ 6 を繰り返す **【コピーを途中でやめるには】** メニューボタンを押す **【コピーを終了するには】** メニューボタンを押す **お知らせ** ● コピー中に電源を切らないでください。 ● コピーするときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。 ● コピー中に、カード扉を開けないでください。コピーが中断されます。 ● 「全て」を選択した場合など、写真が多数あるときはコピーに時間がかかります。 ● コピーされた写真は、コピー先に記録されている写真の後に記録されます。（ファイル名やフォルダ名は、コピー前とは異なります） ● ロック設定や DPOF 設定した写真をコピーした場合、コピー先では設定は解除されます。 ● パソコンや他の機器でSDカードに写真をコピーした場合、本機では表示されないことがあります。このような画像は、「全て」を選択した場合でも、HDD にコピーすることはできません。

HDD/SD カードを 整理する

HDD のフォーマット

HDD

フォーマットすると、HDD に記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができませんのでお気をつけください。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- モードダイヤルを ▶ に合わせる
- 「メディア選択」を「HDD」に設定する

1 メニュー操作する（P18）

「セットアップ」→
「HDD フォーマット」→「する」

2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで、ジョイスティックの中央を押す

- フォーマット完了後、メニューボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。

お知らせ

- フォーマット中は電源を切らないでください。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- フォーマット中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- 本機を廃棄/譲渡するときは、HDDの物理フォーマットをしてください。（P103）

HDD 情報表示

HDD

HDD の使用領域と空き領域が表示されます。

- モードダイヤルを ▶ に合わせる
- 「メディア選択」を「HDD」に設定する

メニュー操作する（P18）

「セットアップ」→「HDD情報表示」→「する」

【情報表示画面を閉じるには】
メニューボタンを押す

お知らせ

- 60 GB の内蔵 HDD はファイルシステムなどの管理情報を保存している領域があるため、実際に使える容量が少なくなります。
  HDD の容量は、一般的に 1 GB= 1,000,000,000 バイトで計算しています。本機やパソコン、一部のソフトウェアでは、1 GB=1,024×1,024×1,024=1,073,741,824 バイトで計算しているため、表示される値は小さくなります。

SDカードのフォーマット

SD

フォーマットすると、SDカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができませんのでお気をつけください。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

●「メディア選択」を「カード」に設定する

1 メニュー操作する（P18）

「セットアップ」→
「カードフォーマット」→「する」

---

2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで、ジョイスティックの中央を押す

- フォーマット完了後、メニューボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。

お知らせ

- フォーマット中は電源を切らないでください。
- フォーマット中にカード扉を開けないでください。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプターを使用してください。
- フォーマットは本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。
- ご使用のカードによっては、フォーマットに時間がかかる場合があります。

テレビにつないで見る HDD SD

本機で撮影したビデオ・写真をテレビ画面で再生できます。
- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。
- SD カードスロット付きのテレビでは、本機で撮影したビデオや写真を再生できるものもあります。(詳しくは、テレビの説明書をお読みください)

接続する端子に合わせて、テレビの入力切換を選んでください。
例:「ビデオ 2」
(詳しくは、テレビの説明書をお読みください)

「グッ」と奥まで差し込んで接続してください

1 本機とテレビをつなぐ

2 本機の電源を入れ、モードダイヤルを▶または📷に合わせる

3 再生するメディアを選ぶ

メニュー操作する(P18):
「メディア選択」→「HDD」または「カード」

4 本機で再生を始める

■ テレビに本機の映像や音声が出ないときは
- 接続している端子を確認してください。
- プラグがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- **テレビの入力設定(入力切換)を確認してください。(詳しくは、テレビの説明書をお読みください)**

■ 画面の比率が 4:3 のテレビでワイド（16：9）映像を見るには

本機で撮影した横縦比 16：9 のビデオや写真を、横縦比 4：3 のテレビで再生すると、画面に映る映像が縦長になることがあります。この場合、メニューの設定を変更すると元の映像の比率で再生できるようになります。（テレビの設定により、正しく表示されない場合がありますので、テレビの説明書もお読みください）

メニュー操作する（P18）：
「セットアップ」→「接続するテレビ」→「4：3」

横縦比 16：9 の映像を 4：3 テレビに映したときの例：

「接続するテレビ」の設定	
ワイド	4：3

✎お知らせ

- お買い上げ時の設定は「ワイド」です。
- ワイドテレビではテレビ側の画面モードで調整してください。詳しくは、テレビの説明書をお読みください。

■ テレビ画面に機能表示などを表示するには

本機の画面に表示されている情報（操作アイコン、カウンター表示など）をテレビ画面に表示することができます。

メニュー操作する（P18）：
「セットアップ」→「外部表示」→「入」

✎お知らせ

- 「切」に設定すると、表示が消えます。
- 本機の画面の表示は変わりません。

DVD バーナーをつないで
コピー / 再生する

DVD バーナー VW-BN1（別売）と本機を接続し、本機で記録したビデオや写真をディスクにコピーできます。
また、コピーしたディスクを再生することもできます。（P71）

当社製 DVD バーナー VW-BN1 を推奨します。（2008 年 12 月現在）

当社で動作確認した DVD バーナー（DVD MULTI ドライブ）についての最新情報は
下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/video/connect/

コピーに使用できるディスクについて

新品※[1] で 12 cm の DVD-RAM、DVD-RW※[2]、DVD-R、DVD-R DL、CD-RW※[3]、CD-R※[3] にコピーしてください。

- **ディスクの記録 / 再生面に指紋や汚れがつかないようにしてください。**
- 8 cm のディスクや +RW、+R、+R DL にはコピーできません。
- DVD バーナーの推奨ディスクをお使いになることをおすすめします。推奨ディスクやディスクの取り扱いなど詳しくは DVD バーナーの取扱説明書をお読みください。

※ 1. 使用済みのディスクにはコピーできません。ただし、DVD-RAM、DVD-RW、CD-RW は、フォーマットするとコピーできます。記録済みの DVD-RAM、DVD-RW、CD-RW を DVD バーナーに入れると、フォーマットしてからコピーを開始します。ディスクに記録されているデータはすべて消去され、元に戻すことはできませんのでお気をつけください。
※ 2. ビデオのみ対応しています。
※ 3. 写真のみ対応しています。

■ コピー機能とコピーできるデータについて

	データ	ビデオ		写真	ページ
	メディア	HDD	SD	HDD/SD	
簡単 DVD	① 全てのシーン	○	○	○	67
	② 追加シーン	○	○	×	67
お気に入り DVD	③ シーン選択	○	○	×	68
	④ 日付選択	○	○	×	69
	⑤ プレイリスト選択	○	×	×	69

○：コピーできます　×：コピーできません

お知らせ

- ビデオと写真を同時にコピーすることはできません。
- HDD と SD カードから同時にコピーすることはできません。
- 複数の SD カードから 1 枚のディスクへのコピーはできません。
- コピーするシーンの順番は変更できません。

本機と DVD バーナーをつなぐ

本機と DVD バーナーを接続し、コピー / 再生の準備をします。

ACアダプターを接続してください

「グッ」と奥まで差し込んで接続してください

ミニA

ミニB

DVD バーナー（別売）

ACアダプターを接続してください

ミニ AB USB 接続ケーブル（**VW-BN1** に付属）

1 DVD バーナーに AC アダプター（**VW-BN1** に付属）を取り付ける

- 本機からは電源を供給できません。

2 本機に AC アダプターを取り付ける

3 本機の電源を入れる

4 本機と DVD バーナーをミニ AB USB 接続ケーブル（**VW-BN1** に付属）でつなぐ

- DVD バーナー機能選択画面が表示されます。

5 DVD バーナーにディスクを入れる

- DVD バーナーを本機に接続してからディスクを入れてください。

お知らせ

- DVD バーナーの取り扱いについては、DVD バーナーの取扱説明書をお読みください。
- DVD バーナーにディスクが入っている状態で本機に接続すると、「しばらくお待ちください。」が 1 分以上表示されたあと、「接続機器の確認ができませんでした。本機側の USB ケーブルを抜いてください。」と表示される場合があります。この場合、一度本機からミニ AB USB 接続ケーブルを抜き、DVD バーナーからディスクを取り出して、ディスクが裏返っていないかどうか、また使用可能なディスクかどうかを確認してください。（P65）

簡単 DVD

HDD SD

本機で記録したシーン / 写真をディスクにコピーし、バックアップを作成することができます。簡単 DVD でディスクにコピーしたシーンにはコピー済みの情報が記録され、コピー後に追加撮影したシーンのみをコピーしたり、コピー済みのシーンを一括消去することができます。

● **本機と DVD バーナーをつなぐ（P66）**

① すべてのシーン / 写真をコピーする

HDD または SD カードに記録されたすべてのシーンまたは写真をディスクにコピーします。

1 メニューを選ぶ（P18）

「ディスクの作成」→「HDD」または「カード」→「ビデオ」または「写真」→「簡単 DVD」※→「全てのシーン」※

※「ビデオ」選択時のみ

② 追加撮影したシーンのみコピーする

簡単 DVD を使ってディスクにコピーしたあと、追加撮影されたシーン（「☑」が表示されていないシーン）をコピーします。

1 メニューを選ぶ（P18）

「ディスクの作成」→「HDD」または「カード」→「ビデオ」→「簡単 DVD」→「追加シーン」

2 ジョイスティックで「はい」を選び、中央を押す

ディスクの種類による必要枚数

- コピーに必要なディスクが 2 枚以上のときは、画面の指示に従ってディスクを交換してください。
- 記録済みの DVD-RAM、DVD-RW または CD-RW が DVD バーナーに挿入されている場合、ディスクの内容を消去するかどうかの確認メッセージが表示されます。消去してもよいか確認してから「はい」を選択してください。
- コピー完了後メッセージが表示されたら、ジョイスティックの中央を押してください。 すべてのシーンをコピーした場合は、同じ内容で別のディスクを作成することができます。画面の指示に従ってください。
終了するには、ディスクを取り出しミニ AB USB 接続ケーブルを抜いてください。

お知らせ

- メニュー操作の途中でメニューボタンを押すと、最初のメニュー画面に戻ります。

■ コピー済みアイコン「☑」について

簡単 DVD を使ってディスクにコピーされたシーンには、コピー済みの情報が記録され、サムネイルに「☑」が表示されます。

- 「☑」が表示されているシーンは、一括消去することができます。（P52）
- コピー済みのシーンを「分割消去」で編集すると、コピー済みの情報が消去されるため、「追加シーン」を選んだ場合でも、再びコピーされます。

お気に入り DVD を作成する

本機で記録したシーンの中からお気に入りのシーンを選んで 1 枚のディスクに集めたり、撮影した日付を選んでコピーすることができます。
また、HDD に作成したプレイリストを、ディスクにコピーすることもできます。

● **本機と DVD バーナーをつなぐ（P66）**

③ シーンを選んで 1 枚のディスクにコピーする

HDD SD

コピーするシーンを選んで、 1 枚のディスクにコピーします。

1 メニューを選ぶ（P18）

「ディスクの作成」→「HDD」または「カード」→「ビデオ」→「お気に入り DVD」→「シーン選択」

- 記録済みのDVD-RAMまたはDVD-RWがDVDバーナーに挿入されている場合、ディスクの内容を消去するかどうかの確認メッセージが表示されます。消去してよいか確認してから「はい」を選択してください。

2 ジョイスティックでコピーするシーンを選び、中央を押す

シーンのデータサイズ

ディスクの残り容量
（使用可能なディスクの容量は、1 MB=1,048,576 バイトで計算されます）

選んだシーンが赤色の枠で囲まれます。

- もう一度押すと、解除されます。
- 最大 50 シーンまで続けて選択できます。
- シーンの合計サイズがディスク容量を超えた場合は、ディスクの残り容量表示が赤くなり、超過した容量が表示されます。1 枚のディスクに収まるようにシーンを選んでください。

3 「開始」を選び、中央を押す

4 確認のメッセージが出たら、

「はい」を選び、中央を押す

- コピー完了後メッセージが表示されたら、ジョイスティックの中央を押してください。 同じ内容で別のディスクを作成することができます。画面の指示に従ってください。
  終了するには、ディスクを取り出しミニ AB USB 接続ケーブルを抜いてください。

お知らせ

- メニュー操作の途中でメニューボタンを押すと、最初のメニュー画面に戻ります。

④ 日付を選んでコピーする

HDD SD

本機で撮影したシーンを、撮影日を選んでディスクにコピーします。

1 メニューを選ぶ（P18）

「ディスクの作成」→「HDD」または「カード」→「ビデオ」→「お気に入りDVD」→「日付選択」

⑤ プレイリストを選んでコピーする

HDD

本機の HDD に作成したプレイリストを、ディスクにコピーします。

1 メニューを選ぶ（P18）

「ディスクの作成」→「HDD」→「ビデオ」→「お気に入り DVD」→「プレイリスト選択」

2 ジョイスティックでコピーする日付またはプレイリストを選び、中央を押す

日付選択
2009.11.15
2009.11.10
2009.11. 5
2009.11. 1
2009 10
2009 9
選択 決定 開始 MENU

プレイリスト選択
プレイリスト-03
プレイリスト-02
プレイリスト-01
選択 決定 開始 MENU

- もう一度押すと、解除されます。
- 日付は最大 50 日まで続けて選択できます。

3 メニューボタンを押す

4 確認のメッセージが出たら、「はい」を選び、中央を押す

5 「はい」を選び、中央を押す

ディスクの種類による必要枚数

日付選択
ディスク種類:DVD-RW
必要なディスク枚数: 1
ディスクの作成を行いますか?
はい いいえ
選択 決定 中止 MENU

- コピーに必要なディスクが 2 枚以上のときは、画面の指示に従ってディスクを交換してください。
- 記録済みの DVD-RAM または DVD-RW が DVD バーナーに挿入されている場合、ディスクの内容を消去するかどうかの確認メッセージが表示されます。消去してもよいか確認してから「はい」を選択してください。
- コピー完了後メッセージが表示されたら、ジョイスティックの中央を押してください。同じ内容で別のディスクを作成することができます。画面の指示に従ってください。
  終了するには、ディスクを取り出しミニ AB USB 接続ケーブルを抜いてください。

お知らせ

- メニュー操作の途中でメニューボタンを押すと、最初のメニュー画面に戻ります。

DVD バーナーを使ったコピーについて

コピー終了後、HDD または SD カードのデータを消去する前に、ディスクを再生して正常にコピーされているか確認してください。(P71)

- コピー中は本機や DVD バーナーの電源を切ったり、ミニ AB USB 接続ケーブルを抜かないでください。また本機や DVD バーナーに振動を与えないでください。
- USB ハブは使わないでください。
- コピー中はディスクを取り出せません。
- シーン単位でコピーされるため、2枚以上のディスクにコピーした場合は、ディスクに未使用の領域ができることがあります。
- コピー後のディスクに追記はできません。
- 写真をコピーする場合は、CD-RW または CD-R をお使いになることをおすすめします。
- 「ディスク読み込み中です。」が2分以上表示される場合は、DVD バーナーからディスクを取り出し、ディスクが裏返っていないかどうか、また使用可能なディスクかどうかを確認してください。(P65)
- 本機と DVD バーナーを接続して作成したディスクは、すべての再生機器での再生を保証するものではありません。
- 本機と DVD バーナーを接続してディスクにコピーされたファイルの日付は、コピーした日付になります。また、コピーされたファイルの日付は、使用するソフトウェアによっては正しく表示されない場合があります。
- 他の機器で記録したデータはコピーできない場合があります。また、コピーされた場合でも正しく再生できない場合があります。
- パソコンや他の機器で SD カードに写真をコピーした場合、本機で表示できない画像は、ディスクにコピーすることはできません。

本機と DVD バーナーを接続して作成したディスクをDVDレコーダーに入れると、ディスクのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。フォーマットすると、すべてのデータが消去され元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。詳しくは、DVD レコーダーの説明書をお読みください。

■ ディスクへのコピー時間のめやす

(合計 4 GB のビデオを 1 枚のディスクにコピーした場合)

ディスクの種類	コピー時間
DVD-RAM	約 40 分～ 90 分
DVD-RW	約 30 分～ 60 分
DVD-R	約 15 分～ 60 分

コピーにかかる時間は、記録されているシーン数、ディスクの種類、ディスクの枚数、周囲の温度によって異なります。
また、正しくコピーされたかデータを自動的に検証するため時間がかります。このような条件により、コピーにかかる時間が記録時間より長くなる場合があります。
コピー完了のメッセージが出るまでお待ちください。

- DVD-R DL は記録層が 2 層あるため、コピー時間が DVD-R の約 1.5 倍～ 2 倍かかります。

■ ディスクの再生について

DVD バーナーで作成したディスクは、DVD プレーヤーで再生できます。(再生可能なディスクの種類は、DVD プレーヤーの説明書をお読みください)
DVD バーナーでは、1 枚のディスクに最大 9999 枚の写真を記録することができますが、再生できる写真の最大数は再生機器によって異なるため、写真の一部が再生できない場合があります。
この場合は、本機と DVD バーナーを接続して再生してください。

コピーしたディスクを再生する

ディスクにコピーしたビデオや写真を再生できます。

ENTER

1 本機と DVD バーナーをつなぐ（P66）

2「ディスクの再生」を選び、ジョイスティックの中央を押す

- ディスクに記録されたシーン / 写真が、サムネイルで表示されます。

3 再生するシーンまたは写真を選び、中央を押す

ディスクの再生
16/16
2009.11.15 12:43
0:03.05
選択 再生
終了 MENU

4 再生操作をする

- 再生の操作方法は、ビデオ再生 / 写真再生と同じです。（P46、49）
- 再生後、ディスクを取り出し、ミニ AB USB 接続ケーブルを抜いてください。

ビデオなどで
ダビングする HDD SD

本機で再生している映像を、ビデオなどの録画機で録画（ダビング）します。
HDD でプレイリストを作成してからダビングすると、必要なシーンだけをダビングすることができます。（P55）
- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

録画機・テレビの入力切換を選んでください

例：録画機「L1」（接続する端子によって変わります）
テレビ「ビデオ 1」（通常ビデオを見る入力）
（詳しくは、録画機・テレビの説明書をお読みください）

A/V
映像・音声コード（付属）
（黄） 映像
（白）左 音声
（赤）右

「グッ」と奥まで差し込んで接続してください

1 本機と録画機をつなぐ

2 本機の電源を入れ、モードダイヤルを ▶ に合わせる

3 再生するメディアを選択する

メニュー操作する（P18）：
「メディア選択」→「HDD」または「カード」

4 本機で再生を始める

5 録画機で録画を始める

【録画（ダビング）を終了するには】

1）録画機で録画を停止する
2）本機で再生を停止する

■ SD カードスロットまたは USB 端子付きの録画機（ブルーレイディスクレコーダー /DVD レコーダー）にダビングする

SD カードスロット付きの録画機には、本機で撮影したビデオや写真をHDDやディスクにコピーできるものもあります。
USB 端子付きの録画機には、本機で撮影した写真を HDD にコピーできるものもあります。
詳しくは、録画機の説明書をお読みください。

USB 端子を使ってコピーする場合

本機と録画機を USB 接続ケーブル（付属）で接続し、本機の USB 機能選択画面で「PC/ レコーダー」を選んでください。

ダビングした映像をワイドテレビで再生すると、縦に引き伸ばされた映像になる場合があります。この場合は、ダビングされる機器の説明書をご確認いただくか、またはワイドテレビの説明書をお読みになり 16：9（フル）に設定してください。

プリンターにつないで写真をプリントする(PictBridge(ピクトブリッジ)) HDD SD

PictBridge に対応したプリンターが必要です。(プリンターの説明書もお読みください)

「グッ」と奥まで差し込んで接続してください

USB 接続ケーブル(付属)

● AC アダプターを取り付けて、本機の電源を入れる

1 本機とプリンターをつなぐ

- USB 機能選択画面が表示されます。
- 必ず、付属の USB 接続ケーブルをお使いください。(付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません)

2 ジョイスティックで「PictBridge」→「HDD」または「カード」を選び、中央を押す

- 本機の画面に「PictBridge」が表示されます。

3 プリントする写真を選び、中央を押す

PictBridge
0 枚
2009.11.15 12:34 0.2M
選択 決定

4 プリントする枚数を選び、中央を押す

PictBridge
1 枚
2009.11.15 12:34 0.2M
選択 決定

- 最大で 9 枚まで設定できます。
- 設定を解除するには、0 枚に設定します。
- 最大 8 ファイルまで続けて設定できます。

5 メニューボタンを押して PictBridge メニュー画面を表示する

6 「日付プリント」で日付印刷の設定を選ぶ

- プリンターが日付印刷に対応していないと、設定できません。

7 「用紙サイズ」で用紙のサイズを選ぶ

標準　：プリンターに設定されているサイズ
L　　：L 判サイズ
2L　 ：2L 判サイズ
ハガキ：はがきサイズ
A4　 ：A4 サイズ

- プリンターが対応していないサイズには設定できません。

8 「レイアウト」で希望のレイアウトを選ぶ

標準　：プリンターに設定されているレイアウト
　　　：ふちなしプリント
　　　：ふちありプリント

- プリンターが対応していないレイアウトには設定できません。

9 「プリント」の「する」を選んでプリントする

- プリント終了後、USB 接続ケーブル（付属）を抜くと PictBridge が終了します。

【プリントを途中でやめるには】

ジョイスティックを下にたおす

- 確認のメッセージが出ます。
  「はい」を選んだ場合は枚数設定を解除して手順 3 に戻り、「いいえ」を選んだ場合は設定した内容をすべて保持して手順 3 に戻ります。

お知らせ

- プリント中は以下の操作をしないでください。正しくプリントされません。
  – USB 接続ケーブルを抜く
  – カード扉を開いて、SD カードを取り出す
  – モードダイヤルを切り換える
  – 電源を切る
- 用紙サイズや印字品質など、プリンターの設定を確認してください。
- 用紙サイズによって印字品質が変わります。
- 横縦比が 16:9「0.2M」で撮影した写真は、プリント時に端が切れる場合があります。
  「トリミング」や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、「トリミング」または「ふちなし」の設定を解除しておためしください。（プリンターの説明書をお読みください）
- プリンターに直接つないでいるときは、DPOF プリントはできません。
- 本機とプリンターは直接つないでください。USB ハブは使わないでください。

パソコンでできること

付属 CD-ROM から VideoCam Suite 2.0 をパソコンにインストールすると、以下の操作ができます。

パソコンに取り込む
DVD ビデオで残す
映像を編集する：
パソコンに取り込んだ映像を編集したり、お好みのシーンを集めて保存することができます。
パソコンで見る

簡単 DVD：
簡単に DVD ビデオを作成できます。（P86）

WEB（ウェブ）モード：
簡単にビデオをYouTubeにアップロードすることができます。（P87）

お知らせ

- VideoCam Suite 2.0は本機で記録した映像またはVideoCam Suite 2.0で作成した映像のみ対応しています。他のビデオカメラ、DVD レコーダー、ソフトウェアで記録・作成した映像や市販の DVD ビデオの映像には対応していません。
- 本機付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用した場合の動作は保証しません。
- 本機付属のソフトウェア以外のソフトウェアで、本機で記録した映像のコピーをしないでください。

動作環境

- インストールには CD-ROM ドライブが必要です。(DVD 書き込みには、対応したドライブとメディアが必要です)
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続している場合や、USBハブやUSB延長ケーブルを使用して接続している場合の動作は保証できません。
- 本機とパソコンを接続するときは、必ず付属の USB 接続ケーブルをお使いください。(付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません)

■ VideoCam Suite 2.0

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	プリインストールされた各日本語版 Microsoft Windows 2000 Professional Service Pack 4 Microsoft Windows XP Home Edition Service Pack 2/Service Pack 3 Microsoft Windows XP Professional Service Pack 2/Service Pack 3 Microsoft Windows Vista Home Basic および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Home Premium および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Ultimate および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Business および Service Pack 1
CPU	Intel Pentium III 1.0 GHz 以上の CPU(互換 CPU を含む) ● 再生機能 /MPEG2 出力機能を使用する場合は、Intel Pentium 4 1.8 GHz 以上を推奨
メモリ	512 MB 以上(1 GB 以上を推奨)
ディスプレイ	High Color(16 bit)以上(32 bit 以上を推奨) デスクトップ領域 1024×768 以上(1280×1024 以上を推奨) DirectX 9.0c に対応したビデオカード DirectDraw のオーバーレイに対応 PCI Express™ ×16 対応を推奨
ハードディスクドライブ	Ultra DMA–33 以上 450 MB 以上の空き容量(インストール用) ● ディスクまたは SD カードに記録するときは、作成するディスクまたはカードの 2 倍以上の空き領域が必要です。
必要なソフトウェア	DirectX 10.1(Windows Vista Service Pack 1 ではインストール済み) DirectX 10(Windows Vista ではインストール済み) DirectX 9.0c(Windows 2000/XP) ● DirectX 9.0c に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。

サウンド	DirectSound 対応
インターフェース	USB 端子（ハイスピード USB（USB2.0））
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス SD カードリーダー / ライター（SD カードの読み込みや記録に必要） インターネット接続環境

- 付属ソフトウェアでご使用になる機能によっては、動作環境が異なります。動作環境の詳細については、カタログまたは“http://panasonic.jp/support/video/connect/soft.html”をご参照ください。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。
- Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windows MeおよびWindows NTには対応していません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機では動作保証しません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証しません。
- マルチブート環境には対応していません。
- マルチモニター環境には対応していません。
- Windows XP Media Center Edition、Tablet PC Edition、Windows Vista Enterprise および 64 bit のオペレーティングシステムでの動作は保証しません。
- 日本語以外の言語の文字入力はサポートしておりません。
- Windows XP/2000 は管理者アカウントのユーザーでのみ使用可能です。Windows Vista は管理者および標準アカウントのユーザーでのみ使用可能です。（インストール、アンインストールは管理者アカウントのユーザーで行ってください）
- DirectX 9.0c はアプリケーションインストール時に自動的にインストールされます。
- すべての DVD ドライブについて動作を保証するものではありません。
- 本ソフトウェアで作成した DVD ディスクは、すべての DVD プレーヤーでの再生を保証するものではありません。
- お使いのパソコンの環境によって（例：ハイスピード USB（USB2.0）に対応していないなど）、映像を再生したときに、コマ落ちや音途切れが発生したり、ソフトウェアの動作が遅くなったりすることがあります。
- 動作環境を満たしていないパソコンを使用した場合、ディスクへの書き込みが失敗することがあります。

■ カードリーダー機能（マスストレージ）

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Microsoft Windows 2000 Professional Service Pack 4 Microsoft Windows XP Home Edition Service Pack 2/Service Pack 3 Microsoft Windows XP Professional Service Pack 2/Service Pack 3 Microsoft Windows Vista Home Basic および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Home Premium および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Ultimate および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Business および Service Pack 1
CPU	Windows Vista: Intel Pentium III 1.0 GHz 以上の 32 ビット（x86）のプロセッサ、 Windows XP/2000: Intel Pentium III 450 MHz 以上、または Intel Celeron 400 MHz 以上
メモリ	Windows Vista Home Basic: 512 MB 以上 Windows Vista Home Premium/Ultimate/Business:1 GB 以上 Windows XP/2000: 128 MB 以上（256 MB 以上を推奨）
インターフェース	USB 端子

- OS 標準ドライバーで動作します。

準備する
1

ソフトウェアの インストール

ソフトウェアをインストールするときは、ユーザー名を「Administrator」(もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名)にしてパソコンにログオンしてください。(権限がない場合はシステム管理者にご相談ください)

- インストールを始める前に他の起動中のソフトウェアをすべて終了し、インストール中に他の作業をしないでください。

1 CD-ROMをパソコンに入れる

- 自動でインストール画面が表示されます。
- 自動でインストール画面が表示されない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ(コンピュータ)」を選び(またはデスクトップの「マイコンピュータ(コンピュータ)」をダブルクリックして)、「PANASONIC」をダブルクリックしてください。

Windows Vista をお使いの場合:
以下の画面が表示されたときは、「setup.exe の実行」→「続行」をクリックしてください。

クリック

クリック

2 「次へ」をクリックする

クリック

3 インストール先のフォルダを選び、「次へ」をクリックする

4 ショートカットを作成するか選択する

5 「インストール」をクリックする

クリック

6 インストールが完了すると制限事項が表示されます。

内容を確認し、ウィンドウ右上の「×」をクリックする

7 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックをつけて「完了」をクリックする

クリック

インストール完了後、パソコンを再起動してください。

お知らせ

- お使いの環境によっては、DirectX 9.0cのインストールを要求されますので、「はい」をクリックしてインストールしてください。
  DirectX 9.0c に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。

ソフトウェアをアンインストールするには

ソフトウェアが不要になったときは、以下の方法でアンインストールしてください。

■ Windows Vista

1 「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を選ぶ

クリック

2 「VideoCam Suite 2.0」を選び、「アンインストール」をクリックする

クリック

■ Windows XP

1 「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を選ぶ

クリック

2 「VideoCam Suite 2.0」を選び、「削除」をクリックする

クリック

■ Windows 2000

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」を選ぶ

ダブルクリック

2 「VideoCam Suite 2.0」を選び、「変更と削除」をクリックする

クリック

安全上のご注意
はじめに
撮る
見る
パソコンで使う
大事なお知らせなど

準備する

2

接続と認識の手順

ソフトウェアのインストール後、パソコンと本機を接続して使用するには、本機をパソコンに正しく認識させる必要があります。

- 付属 CD-ROM がパソコンに入っている場合は、取り出してください。

「グッ」と奥まで差し込んで接続してください

USB 接続ケーブル（付属）

- **AC アダプターを取り付けて、本機の電源を入れる**

1 本機とパソコンをつなぐ

- USB 機能選択画面が表示されます。
- 必ず、付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません）

2 ジョイスティックで「PC/ レコーダー」→「HDD」または「カード」を選び、中央を押す

- 本機が自動的にパソコンから認識されます。

お知らせ

- **パソコンと接続中は、電源を切ることはできません。USB 接続ケーブルを外してから行ってください。（P84）**
- パソコンが本機にアクセスしている間は、HDD 動作中ランプまたはカード動作中ランプが点灯し、画面に またはが表示されます。記録内容が失われる原因となりますので、アクセス中は USB 接続ケーブルや AC アダプターを外さないでください。
- HDDとSDカードに同時にアクセスすることはできません。
- 本機とパソコンをはじめて接続したときは、パソコンの再起動が必要な場合があります。

パソコンでの表示について

本機をパソコンと接続すると、パソコンの外付けドライブとして認識されます。

- 本機はパソコンからデータの読み出しのみができます。パソコンからデータを書き込んだり、データを消去することはできません。
- パソコンの動作環境によって、アイコンの形状やドライブ名は異なります。

■ ドライブアイコン

「マイコンピュータ（コンピュータ）」に表示されます。

HDD アクセス時

● Windows Vista

CAM_HDD (F:)

● Windows XP

CAM_HDD (K:)

● Windows 2000

リムーバブル ディスク (H:)

カードアクセス時

● Windows Vista

CAM_SD (F:)

● Windows XP

CAM_SD (K:)

● Windows 2000

リムーバブル ディスク (H:)

■ フォルダ構造例

HDD

```
⊟ DCIM
    100CDPFP
⊟ SD_VIDEO
    MGR_INFO
    PRG001
    PRIVATE
```

SD カード

```
⊟ DCIM
    100CDPFP
  MISC
⊟ SD_VIDEO
    MGR_INFO
    PRG001
```

- SD-Video 規格のビデオが「PRG001」などに記録されます。（最大 99 ファイル）
（「001」は 001 から FFF までの 16 進数）
- JPEG 規格の写真（「IMGA0001.JPG」など）が「100CDPFP」などのフォルダに記録されます。（最大 999 ファイル）
- DPOF 設定データが「MISC」フォルダに記録されます。（SD カードのみ）

■ 写真をパソコンにコピーするには

HDD/カードリーダー機能(マスストレージ)

本機のHDDまたはSDカードがパソコンの外付けドライブとして認識されているときは、「エクスプローラ」などで本機で記録した写真をパソコンにコピーできます。

1）**ドライブ内の写真が保存されているフォルダ（「DCIM」→「100CDPFP」など）をダブルクリックする**

2）**コピー先のフォルダ（パソコンのHDD）に写真ファイルをドラッグ & ドロップする**

お知らせ

- SDカード内のフォルダをパソコン上で消去しないでください。本機で読み込めなくなる場合があります。
- SDカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。

USB接続ケーブルを安全に外すには

1 タスクトレイの（ ）アイコンをダブルクリックする

- 「ハードウェアの安全な取り外し」が表示されます。
- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。

2 「USB 大容量記憶装置デバイス（USB大容量記憶装置)」を選び、「停止」をクリックする

3 「MATSHITA HDD CAM-HDD USB Device」または「MATSHITA HDD CAM-SD USB Device」が選ばれていることを確認し、「OK」をクリックする

- 「閉じる」をクリックし、USB接続ケーブルを外してください。

VideoCam Suite 2.0 を使う

- Windows Vista をお使いの場合：
  VideoCam Suite 2.0 を使うときは、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）または標準ユーザーアカウントのユーザー名にしてパソコンにログオンしてください。GUEST アカウントのユーザーでログオンした場合は、ソフトウェアを使用することはできません。
- Windows XP/2000 をお使いの場合：
  VideoCam Suite 2.0 を使うときは、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）にしてパソコンにログオンしてください。これ以外のユーザー名でログオンした場合は、ソフトウェアを使用することはできません。

（パソコンで）

「スタート」→「すべてのプログラム（プログラム）」→「Panasonic」→「VideoCam Suite 2.0」→「VideoCam Suite」を選ぶ

- ソフトウェアの詳しい使いかたについては、ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

ソフトウェアの取扱説明書を読む

「スタート」→「すべてのプログラム（プログラム）」→「Panasonic」→「VideoCam Suite 2.0」→「取扱説明書」を選ぶ

■ 取扱説明書が開かないときは

取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Reader が必要です。
お使いのOS で使用できる Adobe Readerのバージョンを下記のウェブサイトからダウンロードし、パソコンにインストールしてください。
http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2_allversions.html

簡単 DVD 機能

HDD

VideoCam Suite 2.0の簡単DVD機能を使うと、簡単にDVDビデオを作成することができます。本機の HDD に記録されたシーンの中から、まだコピーされていないシーンのみを自動的に選んでディスクに記録します。
この機能を使って作成した DVD ビデオは、DVD プレーヤーなどで再生することができます。

● **ディスクをパソコンの DVD ドライブに挿入する**

1 本機とパソコンをつなぐ（P82）

2 ジョイスティックで「簡単 DVD」を選び、中央を押す

「簡単 DVD」画面が表示されます。

お知らせ

- ソフトウェアの詳しい使いかたについては、ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
- コピー完了後、メッセージが表示されます。「OK」をクリックすると、「PC/ レコーダー」での USB 接続状態になります。本機の電源を切る前に、USB 接続ケーブルを外してください。（P84）
- 簡単 DVD 機能でコピーされたシーンには、「☑」が表示され、一括消去することができます。（P52）
- 簡単 DVD 機能でディスクを作成すると、シーンの順番は自動で設定されます。シーンの順番を変えたい場合は、パソコンにビデオを取り込んでから、ディスクに書き込んでください。（P85）
- 一度簡単DVD機能を使ってコピーしたシーンは、2回目以降はコピーされません。コピーしたい場合は、パソコンにビデオを取り込んでから、ディスクに書き込んでください。（P85）

コピー終了後、HDD のデータを消去する前に、ディスクを再生して正常にコピーされているか確認してください。

YouTube にアップロードする

VideoCam Suite 2.0 を使って、YouTube にビデオを簡単にアップロードすることができます。
アップロードするビデオは、ウェブモードで記録しておいてください。(P27)

- **本機の電源を入れ、モードダイヤルを [▶] に合わせる**

1 アップロードしたいビデオが記録されているメディアを選ぶ

メニュー操作する(P18):
「メディア選択」→「HDD」または「カード」

2 本機とパソコンをつなぐ(P82)

3 ジョイスティックで「WEB モード」を選び、中央を押す

「YouTube アップローダー」が起動し、ウェブモードで記録されたビデオが表示されます。

お知らせ

- ソフトウェアの詳しい使いかたについては、ソフトウェアの取扱説明書(PDF ファイル)をお読みください。
- YouTube にビデオをアップロードするためには、YouTube サイトであらかじめユーザーアカウントを取得しておく必要があります。
- アップロード完了後、メッセージが表示されます。「OK」をクリックすると、「PC/ レコーダー」での USB 接続状態になります。本機の電源を切る前に、USB 接続ケーブルを外してください。(P84)
- 本サービスは 2008 年 12 月 1 日現在のものです。
- YouTube™のサービスおよび仕様変更に対して、将来にわたって動作保証をするものではありません。利用できるサービス内容や画面は予告なく変更になることがあります。
- 著作権により保護されているビデオは、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。

Macintosh をお使いの場合

■ カードリーダー機能（マスストレージ）の動作環境

対応パソコン	Macintosh
対応 OS	Mac OS X 10.4 Mac OS X 10.5
CPU	PowerPC G5（1.9 GHz 以上） Intel Core Duo Intel Core Solo
インターフェース	USB 端子

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- OS 標準ドライバーで動作します。
- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。

■ 写真をパソコンにコピーするには

1 本機とパソコンを USB 接続ケーブルで接続する

- 本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

2 ジョイスティックで「PC/ レコーダー」→「HDD」または「カード」を選び、中央を押す

3 デスクトップに表示される「CAM_HDD」または「CAM_SD」をダブルクリックする

- 「DCIM」フォルダ内の「100CDPFP」フォルダなどに写真ファイルが保存されています。

4 取り込みたい画像の入っているフォルダや写真ファイルをパソコン上の別のフォルダにドラッグ & ドロップする

■ USB 接続ケーブルを安全に外すには

デスクトップに表示されている「CAM_HDD」または「CAM_SD」を「ゴミ箱」に捨ててから、USB 接続ケーブルを取り外す

画面の表示

■ 撮影表示

（ビデオ撮影モード時）

（写真撮影モード時）

表示	内容
(バッテリー表示)	バッテリー残量（P15）
1h30m	バッテリー残量時間（P15）
残 0h30m	残り記録可能時間
0h00m00s	撮影経過時間
2009.11.15 12:34	年月日 / 時刻（P21）
(飛行機)	ワールドタイム設定（P22）
●/❚❚（赤）	記録中（P26）
❚❚（緑）	撮影の一時停止中（P26）
PRE-REC	PRE-REC（P38）
WIDE	ワイド設定（P40）
AUTO	オートモード（P25）
MNL	マニュアルモード（P42）
	おまかせ iA（P24）
iA	ノーマルモード
	人物モード
	風景モード
	スポットライトモード
	ローライトモード
MF	マニュアルフォーカス（P43）
2×	ズーム倍率表示（P31）
	逆光補正（P37）
	手ブレ補正（P33）
1/100	シャッター速度（P45）
OPEN/F4.0	絞り値（P45）
0dB	ゲイン値（P45）
	美肌モード（P38）
W / B	フェード（白）/ フェード（黒）（P37）
	カラーナイトビュー（P37）
	顔検出（P39）
/ A / A	ビデオライト（P33）
ZOOM	ズームマイク（P31）
	風音低減（P40）
A / +2 / +1 / -1	パワー LCD（P23）
XP / SP / LP	ビデオ記録モード（P28）
	ウェブモード（P27）
	シーンモード（P43）
M	スポーツモード
M	ポートレートモード
M	ローライトモード
M	スポットライトモード
M	サーフ & スノーモード
	白バランス設定（P44）
AWB	オートモード
	屋内モード（白熱電球）
	屋外モード
	蛍光灯モード
	セットモード
	セルフタイマー（P39）
	写真の記録画素数（P30）
0.3M	640×480
0.2M	640×360
（白）	HDD 記録可能状態
（緑）	HDD 認識中
（白）	SD カード記録可能状態
（緑）	SD カード認識中
残 3000	写真の残り記録可能枚数

■ 再生表示

ビデオ再生

写真再生

▶	再生中（P46）
❚❚	再生の一時停止中（P46）
▶▶、▶▶▶ / ◀◀、◀◀◀	早送り / 早戻し再生中（P47）
▶❘/❘◀	最後/最初のシーンの一時停止中
▶▶❘ / ❘◀◀	スキップ再生中（P46）
❘▶/◀❘	スロー / 逆スロー再生中（P47）
❚❚▶/◀❚❚	正 / 逆方向コマ送り中（P47）
0h00m00s	再生時間
 ALL DATE PL01	再生切換（P48） 全シーン 日付け別 プレイリスト
XP/SP/LP	ビデオ記録モード（P28）
No.10	シーン番号
	音量調整（P47）
R	続きから再生（P47）
	ロック設定済み（P53、58）
	コピー済み（P67）
	ウェブモードで撮影したシーン（P27）
100-001	ビデオフォルダ / ファイル名
100-0001	写真フォルダ / ファイル名
1	DPOF 設定済み （1 枚以上に設定）（P59）
 0.3M 0.2M	写真の記録画素数（P30） 640×480 640×360

他の機器で記録した写真は、上記以外のサイズの場合はサイズ表示されません。

■ 他機器との接続時の表示

	DVD バーナー接続時（P66）
	「ディスクの作成」選択時
	「ディスクの再生」選択時
 RAM RW R DL R CD-RW CD-R	ディスクの種類（P65） DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-R DL CD-RW CD-R
PictBridge	PictBridge対応プリンター接続時（P73）
/	HDD/SD カードアクセス中（P82）

■ 確認表示

-- （時刻表示）	内蔵日付用電池が消耗したとき（P21）
!	対面撮影時に警告が出ています。液晶モニターを戻してメッセージ表示を確認してください。
	SD カードが入っていないとき、または使用不可カード
G	HDDの落下状態が検出されたため、HDDにアクセスできません。繰り返し落下状態が検出されると、記録が停止することがあります。

メッセージ表示

液晶モニターに文章で表示される、主な確認 / エラーメッセージの例です。

定期的に HDD のバックアップをとることをお勧めします。

HDD の容量には限りがあります。HDD に記録したビデオや写真は、定期的にパソコンなどにコピーしてください。このメッセージは HDD の異常をお知らせするものではありません。

HDD のバックアップをとることをお勧めします。

HDD の異常を検出しました。すぐに HDD 内のビデオや写真をパソコンなどにコピーしたあと、点検をご依頼ください。

このカードはビデオ記録できません。

8 MB または 16 MB の SD カードがビデオ撮影モードで挿入されています。

カードを確認してください。

非対応のカード、または本機で認識できないカードを入れています。

記録エラーが発生しました。記録を停止しました。

- ビデオ撮影に使用できる SD カードを使用している場合（P11）

このメッセージが表示される場合、SD カードをフォーマットすることをおすすめします。（P62）
フォーマットすると、記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンなどに保存しておいてください。

- 他のカードを使用している場合

ビデオ撮影に使用できる SD カードを使用してください。（P11）

このバッテリーは使用できません。

本機で使用できるバッテリーをお使いください。（P13）
本機に対応していない AC アダプターをお使いの場合は、付属の AC アダプターをお使いください。（P15）
本機に対応したパナソニック製バッテリーをお使いの場合は、バッテリーを外し、再び取り付けてください。何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。

メニュー画面を終了して、マニュアルモードに切り換えてください。
ナイトビューモードを解除してください。

同時に使えない機能を使おうとしています。

落下のため処理に失敗しました。しばらくして、もう一度実行してください。

本機が落下状態を検出したため、動作を停止しました。

高温のため動作できません。電源を切ってしばらくお待ちください。

本機の温度が高すぎるため使用できません。電源を切って、本機の温度が下がるのを待ってからご使用ください。

低温のため操作できません。

本機の温度が低すぎるため使用できません。「しばらくお待ちください」と表示されたときは、電源を切らずにお待ちください。メッセージが消えると本機を使用できるようになります。

エラーを検出しました。電源を入れ直してください。

本機が異常を検出しました。電源を入れ直して本機を再起動させてください。

USB 機能は使えません。ケーブルを抜いてください。

パソコンやプリンターと正しく接続されていません。USB 接続ケーブルを接続し直し、本機の USB 機能選択を設定し直してください。

USB ケーブル接続中のため操作はできません。

パソコンと接続中は本機の電源を切れません。

このディスクの内容は全て消去されます。よろしいですか？

挿入されたディスクにはデータが記録されています。消去する前に記録した機器でデータの内容を確認してください。

このシーンを読み込めなかったため、ディスクへのコピーを中止しました。

表示されたシーンを消去してから、再度コピーしてください。

外部ドライブにエラーが発生しました。本機側の USB ケーブルを抜いてください。

本機からミニ AB USB 接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してください。

修復について

記録や編集中に電源を切ったなどの理由で、本機がファイルの書き込みを正常に終了できないことがあります。
HDD または SD カードにアクセスしたときに異常な管理情報を検出すると、下記のメッセージが表示され、修復が行われます。（エラー内容によっては時間がかかることがあります）

HDD にエラーを検出しました。管理情報を修復中です。
管理情報を修復中です。カードを抜かないでください。

お知らせ

- 修復するときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。修復せずに電源を切っても、再度電源を入れたときに修復することができます。
- データの状態によっては、完全には修復できないことがあります。
- 他の機器で記録された SD カードを修復しないでください。カードやデータが破壊されることがあります。

同時に使えない機能一覧

本機では仕様上、お使いの機能によって使えなくなったり、選べなくなる機能があります。
下の表は機能が制限される例です。

使えない機能	使えなくなる条件
デジタルズーム	● 写真撮影モード時
おまかせ iA	● カラーナイトビュー使用時
フェード	● 写真撮影モード時 ● PRE-REC 中
カラーナイトビュー	● 撮影中（設定・解除できません） ● 写真撮影モード時 ● PRE-REC 中（設定・解除できません）
逆光補正	● カラーナイトビュー使用時 ● 絞り・ゲイン設定時
美肌モードの設定・解除	● 撮影中 ● PRE-REC 中
ヘルプモード	
顔検出	● カラーナイトビュー使用時
シーンモード	● カラーナイトビュー使用時
白バランスモードの変更	● デジタルズーム（約 70 倍以上）使用時 ● カラーナイトビュー使用時
シャッター速度 / 絞り・ゲインの調整	● カラーナイトビュー使用時 ● シーンモード使用時
撮影ガイドライン	● 顔検出使用時

故障かな!?と思ったら

こんなときは？	ご確認ください
電源が入らない 電源が入ってもすぐに切れる バッテリーの消耗が早い	● バッテリーを十分に充電してください。(P13) ● バッテリーの保護回路が動作している可能性があります。バッテリーをACアダプターに5秒～10秒取り付けてみてください。それでも使用できない場合は、バッテリーの故障です。 ● 液晶モニターを開いてください。 ● 低い温度のところではバッテリーが周囲の温度の影響を受け、使用できる時間が短くなります。 ● 十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
電源が勝手に切れる	● 本機を約5分間操作しないと、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源を入れ直してください。エコモードを「切」に設定すると、自動的に電源は切れません。(P19)
バッテリー残量時間が正しく表示されない	● バッテリー残量表示はめやすです。 バッテリー残量が正しく表示されていないと思ったときは、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)
電源が入っているのに何も操作できない 正常に動作しない	● 液晶モニターを開かないと操作できません。 ● 電源を入れ直してください。それでも直らない場合は、バッテリーやACアダプターを外して1分程度たってから、再度バッテリーやACアダプターを取り付け、さらに1分程度たってから電源を入れ直してください。(HDDやSDカードにアクセス中に上記の操作を行うと、データが破壊されることがあります)
電源を切ると「カタカタ」音がする	● これはレンズが移動する音です。故障ではありません。
画面が急に変わった(デモモード)	● ビデオ撮影モードまたは写真撮影モードで、SDカードを入れずに「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。通常は「切」にしてお使いください。(P20)

こんなときは？	ご確認ください
機能表示（残量表示、カウンター表示など）が出ない	● 「セットアップ」メニューの「画面表示」が「切」になっていると、警告、日付表示など以外は消えます。
電源が供給されているのに、撮影できない	● SD カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていると撮影できません。（P10） ● HDD や SD カードの容量がないときは、不要なシーンを消去するか、新しい SD カードを入れてください。（P51） ● ビデオ撮影モードまたは写真撮影モードにしていますか？ ● カード扉が開いていると、本機が正しく動作しません。カード扉を閉じてください。
撮影がすぐに停止する 再生時に映像が一瞬止まる	● 本機内部の温度が高温になっています。画面のメッセージに従ってください。電源を切ってしばらく待つと、再び使えるようになります。 ● HDD使用時に撮影が停止する場合は、パソコンなどにHDDのデータを保存したあと、HDD をフォーマットしてください。（P61）
撮影が勝手に止まってしまう	● HDDに記録中、本機に振動や衝撃を与えるとHDD保護のため撮影が停止することがあります。本機を大音量の中で使用する場合、振動により撮影が停止することがあります。SDカードでの記録をおすすめします。 ● HDD 落下検出機能が働いています。操作中に本機を落としたり、振動を与えたりしないでください。
SD カードにビデオ撮影中に、突然撮影が止まってしまう	● ビデオ撮影に使用可能な SD カードをお使いください。（P11） ● データの書き込みを繰り返して、データ書き込み速度が低下したSDカードでは、ビデオ撮影中に突然停止することがあります。パソコンなどに SD カードのデータを保存したあと、SD カードをフォーマットしてください。（P62）
自動でピントが合わない	● マニュアルボタンを押して「MF」表示を消すか、おまかせ iA ボタンを押してください。 ● オートフォーカスでピントが合いにくい場面（P109）を撮影しているときは、手動でピントを合わせてください。（P43）
「明るさがたりません。レンズカバーを確認してください。」と表示される	● 電源を入れる前に、レンズカバーを開けてください。 ● 極端に暗い場所での撮影時などに、メッセージが表示されることがあります。
本機のスピーカーから再生音声が出ない	● 再生時にボリュームレバーを動かして音量表示を出し、音量を調整することができます。（P47）

こんなときは？	ご確認ください
テレビと正しく接続しているのに映像が出ない 映像が縦長になる	● テレビの説明書をご覧になり、接続した端子に入力切換してください。 ● 「接続するテレビ」の設定がお使いのテレビに合っているか確認してください。（P64）
シーンや写真の消去や編集ができない	● ロック設定を解除してください。（P53、58） ● サムネイル表示が「[!]」のシーン / 写真は消去できないことがあります。不要な場合は HDD または SD カードをフォーマットしてください。（P61）フォーマットすると HDD または SD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。 ● SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると消去や編集ができません。（P10）
SDカードの画像がおかしい	● データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パソコンや他の機器などにも保存してください。
HDD や SD カードをフォーマットしても使えるようにならない	● 本機または SD カードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。 ● 本機では8 MB ～ 32 GB までのSDカードを使用してください。（P9）
表示が消える 画面が動かなくなる 操作できなくなる	● パソコンと接続中は、本機側からは操作できません。 ● 電源を切ってください。電源が切れないときは、バッテリー、AC アダプターを外して付け直し、電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は、電源を外して、お買い上げの販売店にご連絡ください。
「エラーを検出しました。電源を入れ直してください。」と表示される	● 本機が異常を検出しました。電源を入れ直して本機を再起動させてください。 ● 電源を入れ直さなかった場合は、約 1 分後に電源が切れます。 ● 再起動させても何度も繰り返し表示されるときは、修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
本機にSDカードを入れても認識しない	● SD カードをフォーマットする場合は本機で行ってください。フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。（P62）
他の機器に SD カードを入れても認識しない	● SD カードを挿入されている機器が、ご使用の SD カードの容量、または種類（SD メモリーカード /SDHC メモリーカード）に対応しているかご確認ください。詳しくは、お使いの機器の説明書をお読みください。

■ 他の機器との接続時

こんなときは？	ご確認ください
DVD バーナーでコピーしたビデオの音声が出ない	● 撮影時に「音声記録」が「MPEG」に設定されていた場合、再生機器によっては音声が出ないことがあります。「DOLBY」に設定して撮影し、ディスクにコピーするか、付属のソフトウェア VideoCam Suite 2.0 でコピーしてください。

■ パソコンとの接続時

こんなときは？	ご確認ください
USB 接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない	● USB 接続ケーブルを接続する前に、メニュー画面を閉じてください。 ● パソコンに複数の USB 端子がある場合は、USB 端子を変更してください。 ● 動作環境を確認してください。(P76) ● USB 接続ケーブルを外し、本機の電源を入れ直してから接続してください。
USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	● USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイの (　) アイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。
簡単DVD機能が使えない	● 簡単DVD機能でDVDビデオを作成するには、お使いのパソコンに付属のCD-ROMからVideoCam Suite 2.0をインストールする必要があります。(P79)
簡単DVD機能でビデオをコピーできない	● 一度簡単 DVD 機能を使ってコピーしたシーンは、2 回目以降はコピーされません。コピーしたい場合は、パソコンにビデオを取り込んでから、ディスクに書き込んでください。
DVD 作成に時間がかかる	● 記録されるビデオのサイズが小さい場合でも、DVD の作成には時間がかかることがあります。
VideoCam Suite 2.0 で作成したディスクを DVD プレーヤーで再生できない	● 再生機器が対応しているディスクかどうか確認してください。(詳しくは、再生機器の説明書をお読みください)

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🚫	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

■ 指定以外のバッテリーパックを使わない
■ バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
■ バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、水などの液体や火の中へ入れたりしない
■ 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
■ バッテリーパックを炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、104ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
  液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、
  すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

ACアダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーパックは、本機専用のACアダプターで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す
・煙が出たり、異常なにおいや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水や異物が入った
・電源プラグが異常に熱い
・本体やACアダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V～240 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 警告

乗り物を運転中に使わない

事故の誘発につながります。

● 歩行中でも周囲の状況、路面の状況に十分注意する。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分（ビデオライトや側面など）に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

● 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 注意

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60 ℃以上）になります。本機やバッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

ビデオライト点灯中は、照明部を直接見ない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

● 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

運転者などに向けてビデオライトを点灯しない

事故の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

● カードは、保護のため取り出しておいてください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

使用上のお願い

本機について

使用中は本体や SD カードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。（SD カードの出し入れ時はお気をつけください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障する恐れがあります。

お手入れ

お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障する恐れがあります。
- 本機は業務用ではありません。

長期間使用しない場合について

- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機で HDD の「フォーマット」や「消去」をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、HDD 内のデータは完全には消去されません。市販のデータ復元（修復）ソフトなどで、データを復元される場合があります。
- 廃棄/譲渡の際は、本機のHDDを物理フォーマットすることをおすすめします。
  本機を AC アダプターとつないで、メニューから「HDD フォーマット」→「する」を選び、下記の画面で 🗑 ボタンを約 3 秒間押し続けます。

  HDDフォーマット
  フォーマットを行うと、HDDの内容が全て消去されます。フォーマットを実行してもよろしいですか？
  はい　いいえ
  選択 決定　終了 MENU

  HDD データ消去の画面が表示されますので、「はい」を選び、画面の指示に従ってください。
- HDD内のデータはお客様の責任において管理してください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後 5 分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。
また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを外して保管する

- 付けたままにしておくと、本機の電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 端子部に金属が触れないようにビニールの袋に入れて保管してください。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度：15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度：40%～ 60%です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温･多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、本機で充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の 3 ～ 4 倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P108）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体やACアダプターに付けると、本体やACアダプターをいためます。

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。

充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ : http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

Li-ion 00 充電式 リチウムイオン電池使用

ACアダプターについて

- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
- 充電ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーや AC アダプターの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。
  ごみや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから取り除いてください。
  それでも充電ランプが点滅する場合は、温度が高すぎるまたは低すぎるか、バッテリーまたは AC アダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、ACアダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、ACアダプター単体で約0.1 Wの電力を消費しています）
- ACアダプター、バッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

SD カードについて

- SD カードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護･管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。
- 長時間ご使用になると本機表面や SD カードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
- 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶モニターについて

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。
液晶モニターの画素については 99.99% 以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点は映像には記録されませんのでご安心ください。

つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が「つゆつき」です。
つゆつきが起こっていると、レンズがくもったり、正常に動作しない場合があります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

- 下記のように温度差、湿度差があると起こります。
  - 寒い屋外（スキー場のゲレンデなど）から暖かい屋内に持ち込んだとき
  - 冷房の効いた車などから車外へ持ち出したとき
  - 寒い部屋を急に暖房したとき
  - エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
  - 夏の夕立のあと
  - 湯気がたち込めるなど湿度の高いところ（温水プールなど）

寒いところから暖かいところなどの温度差の激しい場所へ持ち込むときは

例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密封してください。約 1 時間その状態で、移動先の室温になじませてからご使用ください。

レンズがくもっているときの処置

バッテリーや AC アダプターを外して、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

別売品のご紹介

本機では以下の別売品がお使いいただけます。

品名 (品番)

- **AC アダプター** (VW-AD21-K)
- **バッテリーパック** (VW-VBG070/ VW-VBG130/VW-VBG260/VW-VBG6 ※ 1)
- **バッテリーパックホルダーキット** (VW-VH04)
- **ワイドコンバージョンレンズ** (VW-LW3707M3)
- **フィルターキット** (VW-LF37W)
- **シューアダプター** (VW-SK12)
- **ビデオ DC ライト** (VW-LDC103 ※ 2)
- **ビデオ DC ライト用交換ランプ** (VZ-LL10)
- **標準三脚** (VW-CT45)
- **ミニ AB USB 接続ケーブル** (VW-CUS2)
- **SD メディアストレージ** (VW-PT2)
- **DVD バーナー** (VW-BN1)

※ 1. VW-VBG6 を使うには、バッテリーパックホルダーキット VW-VH04 が必要です。
※ 2. ビデオ DC ライト VW-LDC103 を使うには、シューアダプター VW-SK12 が必要です。

ワイドコンバージョンレンズ / フィルターキットについて

フィルターキット VW-LF37W の ND フィルターや MC プロテクター、ワイドコンバージョンレンズ VW-LW3707M3 は、レンズの前部に取り付けてください。

- ワイドコンバージョンレンズ VW-LW3707M3 をご使用の場合、約 20 倍までピントが合います。それ以上の倍率では、ピントが甘くなります。その場合は、ワイドコンバージョンレンズを外してご使用ください。
- テレコンバージョンレンズは使用できません。

フィルターキット VW-LF37W に付属のレンズキャップを付ける（外す）には

フィルターキット VW-LF37W を使用する場合、本機を使用しないときは、レンズ保護のため、フィルターキットに付属しているレンズキャップを付けてください。

- つまんで付け外しします。

三脚について

三脚 VW-CT45 は三脚取付穴に取り付けます。（取り付けかたは、三脚の取扱説明書をお読みください）

- 三脚使用時は、グリップベルトでビデオライトをふさがないように、お気をつけください。

ビデオライト

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

映像・音声コードでテレビに接続して見る場合は、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像 / 音声入力端子付テレビが必要です。

■ 日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

●アメリカ合衆国
●アンチグア･バーブーダ
●イエメン（一部地域）
●英領バーミューダ諸島
●エクアドル
●エルサルバドル
●ガイアナ
●カナダ
●キューバ
●グァテマラ
●グァム島
●グレナダ
●コスタリカ
●コロンビア
●ジャマイカ
●スリナム
●セントクリストファー･ネイビス
●セントビンセント･グレナディーン諸島
●セントルシア
●大韓民国
●台湾
●チリ
●ドミニカ共和国
●ドミニカ国
●トリニダード･トバゴ
●ニカラグア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バルバドス
●フィジー
●フィリピン
●プエルトリコ
●米領サモア
●ベトナム（一部地域）
●ベネズエラ
●ベリーズ
●ペルー
●ボリビア
●ホンジュラス
●マーシャル諸島
●マリアナ諸島
●ミクロネシア連邦
●ミャンマー
●メキシコ

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

変換プラグの一例

図の向きに差し込む

充電のしかたは、国内と同じです。AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

● ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A,BF				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B,BF,B3,C,O	イタリア	C
ウクライナ	A,C	オーストリア	B,C,SE	オランダ	C,SE	カザフスタン	A,C
ギリシャ	B,C	スイス	B,BF,C,SE	スウェーデン	C	スペイン	A,C,SE
デンマーク	C	ドイツ	C,SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	C	フランス	C,O,SE	ベラルーシ	A,C	ベルギー	C
ポーランド	B,C	ポルトガル	B,C	ルーマニア	C	ロシア	A,C
アジア							
インド	B,BF,C	インドネシア	A,B,BF,B3,C,SE	シンガポール	B,BF,B3	スリランカ	B,C
タイ	A,BF,C	大韓民国	A,BF,C,O,SE	台湾	A,O	中華人民共和国	A,B,BF,B3,C,O,SE
ネパール	B,BF,C	パキスタン	A,B,C	バングラデシュ	B,C	フィリピン	A,B,BF,C,O
ベトナム	A,C	香港特別行政区	B,BF,B3,C	マカオ特別行政区	A,B,C	マレーシア	B,BF,B3,C
モンゴル	B,BF,C						
オセアニア							
オーストラリア	O	グァム島	A	タヒチ	A,C	トンガ	O
ニュージーランド	O	フィジー	A,C,O				
中南米							
アルゼンチン	A,BF,C,O	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B,C
ハイチ	A	パナマ	A,BF	バハマ	A	プエルトリコ	A
ブラジル	A,C,SE	ベネズエラ	A	ペルー	A,C	メキシコ	A,SE
中東							
イスラエル	BF,C,O	イラン	BF,C	クウェート	B,BF,C	ヨルダン	B,BF
アフリカ							
アルジェリア	A,BF,C	エジプト	B,BF,B3,C,SE	カナリア諸島	C	ギニア	C
ケニア	B,BF,C	ザンビア	B,BF	タンザニア	B,BF	南アフリカ共和国	B,BF,B3,C
モザンビーク	C	モロッコ	C,SE				

タイプ		形状	変換プラグ
A	アメリカンタイプ		不要
B	U.K.タイプ		
BF	U.K.タイプ		
B3	U.K.タイプ		
C	ヨーロピアンタイプ		
SE	ヨーロピアンタイプ		
O	オーストラリアンタイプ		

用語解説

■ オートホワイトバランス

本機は数種類の光源の下での白色情報をあらかじめ記憶しています。撮影時の光源がどのようなものか、レンズからの情報によって判断し、記憶している白バランスの中から最も近いものを選びます。
この機能のことをオートホワイトバランスといいます。
しかし、数種類の光源での白色情報しか記憶していないので、それ以外の光源の下での撮影では、白バランスが正常に働きません。

オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合、手動で白バランスを調整してください。

■ 白バランス（ホワイトバランス）

本機で撮影すると、光源の影響を受け赤っぽく撮れたり、青っぽく撮れたりすることがあります。このような現象が起こらないように、白バランスという調整をします。
白バランスとは、様々な光源の下での白い色を決めることです。太陽の光の下での白い色とはどれなのか、蛍光灯の光の下での白い色とはどれなのかを認識させることによって、その他の色のバランスを調整します。
白色はすべての色（光）の基本になるので、基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮ることが可能になります。

■ オートフォーカス

レンズを自動的に前後に移動させ、ピントを合わせます。

以下のような特性があります。

- **被写体の縦の線がもっともはっきり見えるように調整する**
- **よりコントラストの強いものにピントを合わそうとする**
- **画面の中央部にしかピントが合わない**

このような特性のため、次のようなシーンでは、オートフォーカスは正しく働きません。
マニュアルフォーカスで撮影してください。

遠くと近くのものを同時に撮る
画面の中央にピントが合うため、近くのものを撮ると、背景にピントが合いにくくなります。遠くの山を背景に人物を撮る場合、両方にピントを合わせることはできません。

汚れたガラスの向こうのものを撮る
汚れたガラスにピントが合ってしまうので、ガラスの向こう側のものにピントが合いにくくなります。
また、車の往来が激しい道路の向こう側を撮る場合も、横切った車にピントが合ってしまうことがあります。

キラキラと光るものが周りにある
キラキラ光るものにピントが合ってしまうので、撮りたいものにピントが合いにくくなります。海辺、夜景、花火、特殊なライトが輝いているところなどではピントがぼけることがあります。

暗い場所を撮る
レンズに入ってくる光の情報が少なくなるため、ピントが合いにくくなります。

動きの速いものを撮る
機械的にレンズを動かしているため、速い動きには追いつけなくなります。
例えば、激しく動き回る子どもを撮るときは、ピントがぼけることがあります。

コントラストの少ないものを撮る
コントラストの強いものや縦の線にピントが合いやすいので、白い壁などコントラストや縦の線がないものには、ピントが合いにくくなります。

Quick Reference Guide

Power supply

■ Charging the battery

Charging lamp [CHARGE] Ⓐ
Lights up: Charging
Goes off: Charging completed

1 Connect the AC cable to the AC adaptor and the AC outlet.

2 Insert the battery on the AC adaptor by aligning the arrows.

■ Inserting the battery

Push the battery against the battery holder and slide it until it clicks.

■ Removing the battery

While sliding the BATTERY lever, slide the battery to remove it.

BATTERY

- Hold the battery with your hand so that it does not fall.

Inserting/removing an SD card

Ⓐ Label side

1 Rotate the mode dial to OFF.
- Check that the status indicator has gone off.

2 Open the LCD monitor and then open the SD card slot cover.

3 Insert/remove the SD card.
- Press the SD card straight in as far as it will go.
- Press the center of the SD card and then pull it straight out.

4 Securely close the SD card slot cover.

Turning the unit on/off Selecting a mode

Rotate the mode dial to switch to recording, playback or power OFF.

- Rotate the mode dial while at the same time pressing in the lock release button Ⓐ if changing from OFF to another mode.
- Align with the status indicator Ⓑ.

While pressing the lock release button, set the mode dial to 🎥, ▶, 📷 or ▶ to turn on the power.

The status indicator lights and the power turns on.

To turn off the power

Set the mode dial to OFF.

- The status indicator goes off and the power turns off.

🎥	**Video recording mode**
▶	**Video playback mode**
📷	**Picture recording mode**
▶	**Picture playback mode**
OFF	

How to turn the power on and off with the LCD monitor

When the mode dial is set to 🎥 or 📷, the power can be turned on and off with the LCD monitor.

■ To turn on

Open the LCD monitor.

■ To turn off

Close the LCD monitor.

How to use the joystick

Use the joystick to select the recording functions and playback operations, and to operate the menu screen.

Move the joystick up, down, left, or right to select a setting or scene, and then press the joystick to set it.

❶ Select by moving up, down, left, or right.
❷ Set by pressing the center.

Language selection

1 Press the MENU button, then select [LANGUAGE] and press the joystick.

よく使う設定
お好み設定
メディア選択
セットアップ
LANGUAGE
選択 決定 終了 MENU

2 Select [English] and press the joystick.

LANGUAGE
日本語 English
選択 決定 終了 MENU

安全上のご注意
はじめに
撮る
見る
パソコンで使う
大事なお知らせなど

Recording

■ Recording motion pictures

1 **Rotate the mode dial to select 🎥 and open the LCD monitor.**

2 **Press the MENU button, then select [MEDIA SELECT] → [HDD] or [SD CARD] to select the recording destination and press the joystick.**

3 **Press the recording start/stop button to start recording.**

To end the recording
Press the recording start/stop button again.

■ Recording still pictures

1 **Rotate the mode dial to select 📷 and open the LCD monitor.**

2 **Press the MENU button, then select [MEDIA SELECT] → [HDD] or [SD CARD] to select the recording destination and press the joystick.**

3 **Press the recording start/stop button.**

■ Motion picture playback

▶/❚❚:	Playback/Pause
⏮:	Skip playback (backward)
⏭:	Skip playback (forward)
■:	Stops the playback and shows the thumbnails.

1 **Rotate the mode dial to select ▶.**

2 **Press the MENU button, then select [MEDIA SELECT] → [HDD] or [SD CARD] to select the desired medium and press the joystick.**

3 **Select the scene to be played back, then press the joystick.**

4 **Select the playback operation with the joystick.**

■ Still picture playback

▶/❚❚:	Slide show start/pause.
◀❚❚:	Plays back the previous picture.
❚❚▶:	Plays back the next picture.
■:	Stops the playback and shows the thumbnails.

1 **Rotate the mode dial to select .**

2 **Press the MENU button, then select [MEDIA SELECT] → [HDD] or [SD CARD] to select the desired medium and press the joystick.**

3 **Select the file to be played back, then press the joystick.**

4 **Select the playback operation with the joystick.**

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

SD/HDD ビデオカメラ

電源	DC 9.3 V（AC アダプター使用時）/7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	2.4 W（SP モードで HDD に録画時）

信号方式	NTSC 日米標準信号方式
記録規格	SD カード： SD-Video 規格準拠 HDD ： 独自規格
撮像素子	CCD 固体撮像素子 総画素 約 80 万 有効画素 ビデオ / 写真：約 29 万 (4:3)/ 約 38 万 (16:9)
レンズ	自動絞り 70 倍電動ズーム、マクロ付き（フルレンジ AF） F1.9 ～ F5.7（f ＝ 1.5 mm ～ 105 mm） 35 mm 換算： ビデオ ：45.6 mm ～ 3194 mm (4:3)/37.3 mm ～ 2610 mm (16:9) 写真 ：45.4 mm ～ 3180 mm (4:3)/37.0 mm ～ 2592 mm (16:9)
フィルター径	37 mm
ズーム	光学 70 倍・デジタル 100 倍・スーパーデジタル 700 倍
モニター	2.7 型ワイド液晶モニター（約 12.3 万ドット）
マイク	ステレオマイクロホン（ズーム機能付き）
スピーカー	丸型 ダイナミック型 1 個
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式
標準被写体照度	1400 lx
最低照度	約 6 lx（ローライトモード 1/30 時）、カラーナイトビュー時 約 2 lx
映像出力	1.0 Vp-p 75 Ω
音声出力	316 mV 出力インピーダンス 600 Ω
USB	カードリーダー機能（著作権保護対応無し） HDD リーダー機能 ハイスピード USB（USB2.0)、USB 端子 TYPE miniAB PictBridge 対応
外形寸法	幅 58 mm × 高さ 68 mm × 奥行き 108 mm（突起部含む）
本体質量	約 300 g（バッテリー、SD カード含まず）
使用時質量	約 355 g（付属のバッテリー、SD カード使用時）
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10%～ 80%
バッテリー持続時間	14 ページを参照してください。

ビデオ

記録メディア	SD メモリーカード： 32 MB ※ 1、64 MB ※ 1、128 MB ※ 1、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで（FAT12、FAT16 形式に対応） SDHC メモリーカード： 4 GB、6 GB、8 GB、12 GB、16 GB、32 GB まで（FAT32 形式に対応） 内蔵 HDD：60 GB ※ 2
圧縮方式	MPEG-2
記録モード	XP：約 10 Mbps (VBR) SP：約 5 Mbps (VBR) LP：約 2.5 Mbps (VBR) 記録可能時間は 28 ページを参照してください。
音声圧縮形式	SD カード： Dolby Digital/MPEG-1 Audio Layer 2 HDD ： Dolby Digital 16 bit （48 kHz/2 ch）
最大記録数	SD カード： 99 フォルダ ×99 シーン（9801 シーン） HDD ： 999 フォルダ ×99 シーン（98901 シーン） ● 既存のフォルダのシーン数が 99 に達していなくても、撮影の日付が変わった場合は、新しいフォルダが作成されます。

※ 1. 動作保証しておりません。

※ 2. 60 GB の内蔵 HDD はファイルシステムなどの管理情報を保存している領域があるため、実際に使える容量が少なくなります。
HDD の容量は、一般的に 1 GB=1,000,000,000 バイトで計算しています。本機やパソコン、一部のソフトウェアでは、1 GB=1,024×1,024×1,024=1,073,741,824 バイトで計算しているため、表示される値は小さくなります。

写真

記録メディア	SD メモリーカード： 8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで（FAT12、FAT16 形式に対応） SDHC メモリーカード： 4 GB、6 GB、8 GB、12 GB、16 GB、32 GB まで（FAT32 形式に対応） 内蔵 HDD：60 GB ※
圧縮方式	JPEG（DCF/Exif2.2 準拠）、DPOF 対応
記録画素数	640 × 480（4:3）、640 × 360（16:9） 記録可能枚数は 30 ページを参照してください。

※ 60 GB の内蔵 HDD はファイルシステムなどの管理情報を保存している領域があるため、実際に使える容量が少なくなります。
HDD の容量は、一般的に 1 GB=1,000,000,000 バイトで計算しています。本機やパソコン、一部のソフトウェアでは、1 GB=1,024×1,024×1,024=1,073,741,824 バイトで計算しているため、表示される値は小さくなります。

AC アダプター

電源	AC 100 V― 240 V　50/60 Hz
入力容量	25 VA（AC 100 V 時）/34 VA（AC 240 V 時）
DC 出力	DC 9.3 V　1.2 A（ビデオカメラ）
充電出力	DC 8.4 V　0.65 A（充電）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は･･･

- **修理は､サービス会社･販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは､「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日･販売店名などの記入を必ず確かめ､お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと､保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間　8 年

当社は､この SD/HDD ビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは､その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ､直らないときは､まず接続している電源を外して､お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SD/HDD ビデオカメラ
品　番	SDR-H80
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は**

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので､恐れ入りますが､製品に保証書を添えてご持参ください。

- **保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については､ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

- **修理料金の仕組み**

修理料金は､技術料･部品代･出張料などで構成されています。

技術料 は、診断･故障個所の修理および部品交換･調整･修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は､お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため､ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き､第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

● 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内)	☎(0138)48-6631

東北地区

	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9700
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

	住所	電話
石川	金沢市玉鉾2丁目266番地	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1108

さくいん

英字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

愛情点検	長年ご使用のSD/HDDビデオカメラの点検を！
こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やACアダプターが破損した ・その他の異常や故障がある
▼	
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SDR-H80
販売店名	☎（　　）　-		

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ

〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

F0109MC1049 (6000 Ⓑ)